

令和6年度に使用する小学校教科用図書の
選定に必要な資料

令和5年度作成

鳥取県教科用図書選定審議会

国語

教科名 国語	種目名 国語	発行者番号 2	略称 東書	書名 新編 新しい国語
--------	--------	---------	-------	-------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 全学年で前学年の漢字の定着を図るために、漢字を使った文づくりや練習問題ができる言葉単元「漢字を使おう」が設定されている。(3年上P29、P53、P77等)</p> <p>イ 「学習で使う言葉」が巻末で一覧になっているだけでなく、単元の途中においても説明されている。(3年上P39、P152-153)</p> <p>ウ 「言葉」の学習の単元には、二次元コードが用意され、練習問題に取り組めるよう工夫されている。(3年上P63)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 言葉や情報に関する学習をそれぞれ「言葉相談室」「情報のとびら」として知識及び技能を扱う単元の後に、関連する思考力、判断力、表現力等を指導事項とする単元が配置されている。(3年上P78-83)</p> <p>イ 単元で身に付けたい資質・能力を「言葉の力」として学習過程の中核に位置付け、図解、イラストとともに明示されている。(3年上P6-7、P52、P165-168)</p> <p>ウ 巻末の「言葉の広場」には、語彙力や表現力を高める言葉が多くの観点からまとめられている。(3年上P154-155)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 2年以上の学年において、各単元のはじめと終わりに「見通す」「取り組む」「ふり返る」と「学習の流れ」が詳しく説明され、学習への意欲を高め、学びの定着を図ることができるよう工夫されている。(3年上P17、P16-28)</p> <p>イ 説明動画を視聴することで、児童が自分で学習を進められるような二次元コードが掲載されている。(3年上P120)</p> <p>ウ 各学年の読書単元「本は友だち」では、本のジャンルごとにマークを示して分類され、読書に親しめるよう工夫されている。(3年上P100-103)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 1～4年が上下分冊、5・6年が学年1冊の構成となっている。</p> <p>イ 3年以上の学年において、巻末に「言葉の力のつながり」として指導事項の系統性が示されている。</p> <p>ウ 単元のはじめに二次元コードが付され、前学年の学習の要点を振り返ることができるようになっている。(3年上P16)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 国際理解教育の観点から、外国の児童の挿絵や名前が記載されている。(1年上P1、P9)</p> <p>イ 特別支援教育への配慮として、漢字の読みや送り仮名が強調して示されていたり、助詞の意味と使い方の視覚的理解や、特殊音節の動作化による理解ができたりするようになっている。(1年上P36、P58-59、3年上P19)</p> <p>ウ 文学的文章、説明的文章教材では、5行ごとの行数字の間に1行ごとの点を示すことで、特定の行を見付けやすい工夫がされている。(3年上P19)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 「情報のとびら」において、情報の扱い方について、関係、整理、調査、論理の系統に整理して掲載されている。(3年上P54-55)</p> <p>イ 国語ノートの作り方に加え、デジタルノートの作り方が紹介されている。(3年上P10-13)</p> <p>ウ 巻末付録の「デジタル資料を活用しよう」において、二次元コードを読み取ると資料を見ることができるようになっている。(3年上P150-151)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア SDGs、防災、情報社会への対応等、今日的課題を扱う教材、題材が採用されている。(6年P62-67、P90-100、P152-166)</p> <p>イ 2年以上の学年において「みらいを生きるきみへ」という様々な分野で活躍している人のメッセージが掲載されている。(3年上P106-107)</p>

教科名 国語	種目名 国語	発行者番号 17	略称 教出	書名 ひろがる言葉 小学国語
--------	--------	----------	-------	----------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 「〇年生で学んだ漢字」のページがあり、前学年で学んだ漢字を絵の中で示し、文を作る活動が設定されている。(3年上P44)</p> <p>イ 巻末付録に「言葉の工具箱」が設けられており、各単元で学んだ言葉や学習用語等がわかるよう工夫されている。(3年上P144-151)</p> <p>ウ 「言葉の広場」「言葉の文化」等、言葉について学ぶ機会が設定してあり、言葉について丁寧に扱われている。(3年上P34-37、P130-135)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 異なる領域で関連する指導事項を関係付けた単元構成となっている。(3年下P7-21)</p> <p>イ 説明的文章で練習教材があり、そこで身に付けた指導事項を本教材で生かす構成となっている。(3年上P45-57)</p> <p>ウ 「ことば」「ことばを増やそう」のコーナーで文章の中の言葉を取り上げ、文を読み深めたり、表現活動に活用したりできるよう工夫されている。(3年上P30)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 「〇年生で学ぶこと」として、どのような学びで、どのような言葉の力をつけていくのか示されている。(3年上P4)</p> <p>イ 単元末に「見通しをもとう」のコーナーがあり、学習の進め方が図や子どもの反応例とともに示されている。(3年上P28-29)</p> <p>ウ 上巻「つながる ひろがる」、下巻「これまで これから」で学習内容を振り返る機会が設けられている。(3年上P138、3年下P124)</p> <p>エ 単元末「本を読もう」、巻末「〇年生で読みたい本」で関連する本が掲載されており、表紙とあらすじが紹介されている。(3年上P31、P140-143)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 全学年上下分冊となっている。</p> <p>イ 単元末の「ここが大事」のコーナーで単元の指導事項がまとめられ、巻末に『「ここが大事」のまとめ』が掲載されている。(3年上P31、P151)</p> <p>ウ 他教科の学習との関連が示され、活用につなげられるよう工夫されている。(3年上P102-109、4年上P58-65)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 「みんななかよし」のイラストで、外国人、車いすの子ども、ランドセルの色等、多様性への配慮が見られる。(1年上P4-5)</p> <p>イ 活動の方法や関連する情報を動画で見ることができる。(3年上P8)</p> <p>ウ 文学的文章、説明的文章教材では、5行ごとの行数字の間に1行ごとの点を示すことで、特定の行を見付けやすい工夫がなされている。(3年上P14)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 巻末付録に「じょうほうのまとめ」として、各教科書の単元に関連する情報の扱い方についてまとめられている。(3年上P149)</p> <p>イ プログラミング的思考を取り入れた教材が設定されている。(4年上P126-131)</p> <p>ウ インターネット検索に関する単元が設定されている。(5年上P79)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア AI とのくらし、SDGs、ESD、世界遺産、防災等今日的な課題が取り上げられている。(5年上P116-121、5年下P8-21、6年上P35-61等)</p> <p>イ 1年では絵本の絵が掲載されており、興味を持ちやすく、スタートカリキュラムが意識されている。(1年上P10-13)</p> <p>ウ ふるさとキャリア教育に関連する教材が設定されている。(3年下P74-79、6年下P95-113)</p>

教科名 国語	種目名 国語	発行者番号 38	略称 光村	書名 小学校国語
--------	--------	----------	-------	----------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 「漢字の広場」として、前学年で学んだ漢字の定着を図るために、文を作る活動が設定されている。(3年上P41)</p> <p>イ 2年以上では、「きせつの言葉」として、四季に関連する語彙指導が季節ごとに設定されている。(3年上P42-43、P104-105)</p> <p>ウ 1年では「ことば」の教材の二次元コードに、特につまづきやすい文字表記を中心としたワーク教材が配置されている。(1年上P29)</p> <p>エ 2年以上では「言葉について考えよう」として、言葉への関心を喚起するよう工夫されている。(3年下P107)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 2年以上では、「図を使って考えよう」を巻末に記載し、自分の考えを広げたり整理したりする方法が具体的に説明されている。(3年上P163)</p> <p>イ 説明的文章で練習教材があり、そこで身に付けた指導事項を本教材で生かす構成となっている。(3年上P53-65)</p> <p>ウ 思考、判断、表現の助けとなるよう、巻末の「学習に用いる言葉」では学習用語、「言葉のたから箱」には語彙がまとめられている。(3年上P160-162)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 「どうやって学んでいくのかな」が巻頭に設定され、基本的な学習の進め方が提示されている。(3年上P6-7)</p> <p>イ 2年以上の「見通しをもとう」の中で、「といをもとう」「もくひょう」が設定され、個別最適な学びにつながる工夫がなされている。(3年上P32-33)</p> <p>ウ 説明動画を視聴することで、児童が自分で学習できるよう二次元コードが掲載されている。(3年上P38)</p> <p>エ 「この本、読もう」「本の世界を広げよう」に関連する本が掲載されており、表紙とあらすじが紹介されている。(3年上P34、P144)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 1～4年が上下分冊、5・6年が学年1冊の構成となっている。</p> <p>イ 各領域における前学年とのつながりを「〇年生で学ぶこと」として巻頭に掲載するとともに、単元冒頭に「たしかめよう」として前学年や前単元とのつながりが提示されている。(3年上P8-12、P44)</p> <p>ウ 各単元末に「たいせつ」として3領域の指導事項をまとめて示し、巻末には『「たいせつ」のまとめ』が掲載されている。(3年上P34、P140-143)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 「おはなし ききたいな」のイラストで、肌や髪の色、車いすなど多様性への配慮が見られる。(1年上P10-11)</p> <p>イ 裏表紙の二次元コードには「学校で使う日本語」に関するコンテンツが掲載され、外国人児童への配慮がなされている。</p> <p>ウ 色の組み合わせや色調が配慮されており、UDフォントを使用し、読みやすくなるよう配慮されている。</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 特設教材「じょうほう」では、情報の扱い方に関する内容が掲載されている。(3年上P65)</p> <p>イ プログラミング的思考に関連する単元が設定されている。(6年P278-279)</p> <p>ウ 3年以上では、写真を使って報告文を書いたり、スピーチの練習を撮影したりするなど、ICTを活用する場面が設定されている。(3年下P116-120)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 3年以上ではSDGsに関連する動画や本が紹介されている。(3年上P146)</p> <p>イ ふるさとキャリア教育に関連する教材が設定されている。(3年上P98-102、6年P48-51等)</p>

書寫

教科名 国語	種目名 書写	発行者番号 2	略称 東書	書名 新編 新しい書写
--------	--------	---------	-------	-------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法 (活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア 知識及び技能の習得を意識して自己評価できるよう「振り返ろう」が全学年において単元ごとに配置されている。(2年P5、P7、P9等) イ 学習用語や文字を整えるポイントが「書写のかぎ」として、全学年において示されている。(2年P22、4年P42、5年P10等) ウ 動物などの動きや擬態語を使い、点画の書き方の特徴を捉えやすくなるよう工夫されている。(1年P24-25、2年P12-13、3年P24)
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 導入時に課題意識を持って取り組めるように3年上において、「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「振り返ろう」「生活に広げよう」の見出しで学習の流れが示されている。(3年P2-3) イ 他の学習事項とのかかわりが確認しやすいように目次にインデックスが設定されている。(3年以上の目次)
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 書く時の動きとして「筆順の決まり」が載っており、文字を整えて書くための原理・原則を自分で見つけ、それをめあてとして、確かめながら書けるようになっている。(5年P14) イ 1・2年は「もじをかくしせい」、3年は「毛筆を使って学習しよう」、4年以上は「学習の準備をしよう」を設け、書写に向かう姿勢や鉛筆、筆の持ち方が学年に応じた写真資料で示されている。(1年P2-3、4年P4-5)
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 「生活に広げよう」やリンクマークなどで、国語や他教科と連動させた言語活動等が紹介されている。(2年P25生活、4年P24社会、5年P17家庭) イ 案内役コウゾにより、前学年の学びを想起させたり、クイズ等で確認させたりする投げかけがされている。(2年P9、P14、P23)
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア 「かきやすい もちかた」において、左利きと右利きの両方が実物大で掲載されており、動画も利用できる。(1年P4-5) イ カラーUD や UD フォントに配慮した文字や配色、レイアウトが工夫されている。 ウ 「あし ペた ぴん とん さあ かこう」のリズミカルな表現により、書くための姿勢をとることができるよう工夫されている。(1年P3) エ 文字の組み立て、筆順、毛筆の穂先の通り道(点画のつながり)が、色分けして示されている。(5年P12、P27、6年P18)
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア 単元の導入に二次元コードを配置し、映像を活用した学習ができる構成になっている。 イ 二次元コードは、一斉指導だけでなく、個別指導にも活用できるよう配慮されている。
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア 「文字といっしょに」のコーナーで世界の文字の紹介や日本の文字の歴史が紹介されており、伝統文化に触れる設定がなされている。(5年P38、6年P38) イ 表紙のイラストが生き物であり、性差が分かりにくいように配慮されている。(全学年表紙) ウ 感染症予防として、「うつらない うつさない ために」が設けられている。(1年P49、2年以上P3)

教科名 国語	種目名 書写	発行者番号 17	略称 教出	書名 小学 書写
--------	--------	----------	-------	----------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 単元ごとに各学年の発達段階に合わせた形で学習のめあてと振り返りのコーナーが示されており、自己評価に活用できるよう全学年において設定されている。(1年P36、3年P14-15、5年P13等)</p> <p>イ 各自のめあてに応じて練習できるように、練習用紙の作り方が提案されている。(5年P8)</p> <p>ウ 「ちゅん、とっ、とん」などの擬態語を用いて、筆圧と線の太さが説明されている。(3・4年P11)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア キャラクターが問題提起をして、学習を促す声掛けをして気付きや深い学びへいざなうよう設定されている。(3年P14-15、P29、5年P23等)</p> <p>イ 試し書きのコーナーがあり、自分の字を確認する機会を設け、自己評価できるよう設定されている。(3年P20-21、4年P23、P29等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各学年の巻頭に「初めの学習」のページが設けられており、書写の学習に向かう姿勢が示されている。(3年P6-12、4年P6-14、5年P4-8)</p> <p>イ 3年の巻頭に「なぜ毛筆を学習するの?」、4年の巻頭に「知りたいな!手書きのよさ」が漫画で示されており、書写としてののねらいを捉えられるよう配慮されている。(3年P①、4年P①)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 「書いて伝え合おう」「レッツトライ」では、書写で学習したことが他教科や生活の場で生かせるような言語活動が示されている。(2年P32-33、3年P23、5年P30等)</p> <p>イ 読み手を意識して書くことが、「レッツトライ」で紹介されている。(3年P27、4年P28-29、6年P16-17)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 左利きの児童への配慮、カラーUD、UDフォントなど、個々に応じた配慮がなされている。(1年P6、2年P6、3年P7等)</p> <p>イ 「ぴたっ、ぐうっ、すうっ、ぴょん」など、擬態語を使って、字形や筆圧、運筆が示されている。(1年P14、P26、P30-31)</p> <p>ウ 3年以上の毛筆で筆使いがわかるように穂先に朱が入れられ、視覚支援がなされている。(3年P14、P20、P25等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア まなびリンク(二次元コード)に、学習に役立つ動画やワークシート等のコンテンツが用意され、一斉学習、個別学習に活用できるようになっている。</p> <p>イ まなびリンクに、再生マーク(動画)、鉛筆マーク(ワークシート)、+マーク(資料)などが示されており、マークでコンテンツが確認できる構成になっている。(1年P2)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 「知りたい文字の世界」では、文字の違いだけでなく、活字の中にも種類があることが示されるなど、文字に関する情報が紹介されている。(2年P34、3年P46、6年P23)</p> <p>イ 高学年の教科書で、SDGsのロゴやアイコンが示され、言葉(文字)とSDGsの目標との関係が示されており、書写を通して社会とのつながりを考えられるよう工夫されている。(5年P①-1、P32-33、6年P30-32)</p> <p>ウ 裏表紙の二次元コードを読み込むと、タブレット端末の使い方や感染症対策についての説明が見られるよう設定されている。(全学年)</p>

教科名 国語	種目名 書写	発行者番号 38	略称 光村	書名 書写
--------	--------	----------	-------	-------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 1年では「できたかな」、2年では「振り返ろう」を単元ごとに設定し、めあてに対して自己評価できるよう提示されている。(1年P13、2年P9等)</p> <p>イ 全学年に、ねらいと「たいせつ」のページがあり、文字を整えるポイントが示されている。(3年P29、P30、P32等)</p> <p>ウ 1年に「書写スタートブック」、3年に「毛筆スタートブック」が設けられ、学びに向けての支援が充実するよう配慮されている。(1年P1-11、3年P1-13)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 3年以上のそれぞれの単元に「考えよう」「確かめよう」「生かそう」など学習の進め方が提示されている。(5年P22、P24、P32等)</p> <p>イ 毛筆で書いた文字をタブレットに撮影して、自分の課題を見つけやすいよう提案されている。(3年P11、4年P5、5年P5等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 1年から6年まで学習したことを日常生活に広げられるよう、「書写ブック」において提案されている。(6年P21-28)</p> <p>イ 「もっと知りたい」のページで、実生活と文字のつながりに興味・関心を持つことができるよう工夫されている。(5年P9、6年P20、P29-33等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 「書写広げたい」のコーナーで、国語や他教科、日常生活にかかわる教材が、発達段階に応じて扱われている。(1年P24、2年P20、6年P32-33等)</p> <p>イ 外国語との関連について、特に5年の「書写広げたい」で取り上げられている。(5年P35)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 左利き児童に対して、右利きと同じように「じをかくしせい」「えんぴつのもちかた」を動画でも視聴できるように配慮されていたり、児童の学習負担を軽減する目的でユニバーサルデザインの文字や色が採用されたりしている。(1年P6-8)</p> <p>イ 「しよしゃたいそう」や「ぺったん、びん、ぐう」の声掛けにより、書写の学習に向かう姿勢を整えられるよう工夫されている。(1年P4-5、P6-7)</p> <p>ウ 「ななめほさきちゃん」のイラストにより、運筆の視覚支援が示されている。(3年P12、P16、P18等)</p> <p>エ 4・5年のモデルとなる児童に、外国にルーツのある子どもが取り上げられている。(4年P3、5年P5)</p>
	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードによる多量な資料(資料、アニメーション、写真、動画)が提示されている。(4年P5、5年P5、6年P5)</p> <p>イ デジタルコンテンツの再生時に、動画が流れるだけでなく、教科書に登場するキャラクターが解説することで、教科書の内容とより連動した説明になるよう工夫されている。(3年P16、P18、P20等)</p>
その他	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア SDGsと書写の学習とをつなぐ取組として、3年以上の裏表紙にマークと教材が示されており、1・2年でもSDGsに向けてできることが記載されている。(2年P40、3-6年裏表紙)</p> <p>イ 4年には「SDGsブック」として紹介されている。(4年P21-24)</p>

社会

教科名 社会	種目名 社会	発行者番号 2	略称 東書	書名 新しい社会
--------	--------	---------	-------	----------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 学習を進める上で習得すべき用語が「ことば」として別枠に示されており、簡潔に説明され学習のまとめで活用できるようになっている。(6年政治・国際編P8、P14、P17等)</p> <p>イ 学習技能を系統的に習得できるように、「まなび方コーナー」が設定されている。(3年P47、P94、4年P25等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 「まとめる」活動では、「新聞」「年表」「プレゼンテーション」など多様な表現活動が提示されている。(3年P83、P132-133、5年上P106-107等)</p> <p>イ 「いかす」学習では、学んだことや話し合ったりしたことをもとに、自分たちができることを考える活動が提示されている。(3年P114-115、4年P48-49、6年歴史編P156-157等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 二次元コードの導入動画「学習のはじめに見てみよう」により、これから学習する内容に見通しを持ち、意欲が高まるよう工夫されている。(3年P41、4年P55、6年歴史編P65等)</p> <p>イ 古くから残る建造物や地域の社会的な文化などを調べる学習が、随所に設けられている。(3年P34-35、4年P162-163、5年上P62-63等)</p> <p>ウ 視点や手がかりとともに、問題解決的な学習につながる資料が随所に提示されている。(4年P35、5年上P104-105、P116-117等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 選択教材(3年P42-53とP54-65等)や、柔軟な扱いが可能な「ひろげる」(6年政治・国際編P22、P56等)が多数設けられている。</p> <p>イ 巻頭に前学年で学んだことと当該学年で学ぶこと、巻末に学んだことの振り返りが掲載されている。(4年P4-5、P166-167等)</p> <p>ウ 6年では、中学校社会科(地理・歴史・公民)の学習内容を示した「中学校に向けて」が掲載されている。(6年政治・国際編P110-111)</p> <p>エ 他教科との学習内容と関連する箇所に「教科関連マーク」と教科・内容が示されている。(3年P43、4年P139、6年歴史編P39等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 基本は筆写の文字に近い専用教科書体で表記されており、大切な言葉はゴシック体、学習問題など一部にUDフォントが用いられている。</p> <p>イ 児童キャラクターやイラストに描かれる人物が、性別に偏りがないう配慮されている。</p> <p>ウ 学習問題が、読みやすいまとまりで改行されている。</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 学習場面に応じて動画やワークシート、クイズなどの活用をすることができるよう、二次元コードが配置されている。</p> <p>イ ICT機器を活用している学習の様子や学習例が随所に掲載されている。(3年P25、4年P30-31、5年下P82等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 資料を見て自然環境と生活について話し合ったり、SDGsの目標を参考に、自分たちができることを考えたりできるよう設定されている。(5年下P86-87、6年政治・国際編P106-107)</p> <p>イ 主権者教育や防災・安全など、学年の学習内容に応じ、今日的な課題について多く取り上げられている。(4年P74-93、6年政治・国際編P46-54、P58-59等)</p>

教科名 社会	種目名 社会	発行者番号 17	略称 教出	書名 小学社会
--------	--------	----------	-------	---------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 問題を解決する上で重要な言葉が「キーワード」のコーナーに提示され、必要に応じて解説が加えられ、学習のまとめで活用できるようになっている。(6年P97、P102、P114等)</p> <p>イ 必要な技能が系統的に身に付くように「学びのてびき」コーナーが適宜設けられている。(6年P27、P35、P72等)</p> <p>ウ 3年の巻末に「社会科ガイド」を設け、様々な活動方法が具体的に示されている。(3年P164-175)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 「まとめる」ページでは「関係図」「すごろく」「思考ツール」等多様な活動が示されている。(3年P64-65、4年P67、5年P86等)</p> <p>イ ICT 機器を活用し、対話的な学習を効果的に進める方法が掲載されている。(4年P68-69、5年P170-171、6年P32-33等)</p> <p>ウ 「順位づけ(ランキング)」「分類」「関係図」など、考えを整理するための方法が示されている。(4年P123、5年P102-103、6年P93等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 見開きページごとに「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」のどの場面を学んでいるのか確かめられる「インデックス」が設けられている。(6年P12、P14、P18等)</p> <p>イ 単元を通して一貫性を持って追究することができるように、「次につなげよう」が見開きページごとに掲載されている。(6年P11、P13、P15等)</p> <p>ウ 「つかむ」段階で、学習意欲が高まるような視覚的な資料が随所に掲載されている。(4年P80、5年P64-65、6年P128-129等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 地域の実態に応じて柔軟に学習することができるように、選択ページが多く設けられている。(4年P50-79、P80-113、P176-197等)</p> <p>イ 巻頭には前学年を振り返るページ、当該学年の「社会科で使う見方・考え方」、巻末には当該学年の振り返りが掲載されている。(4年P4-5、P212-213等)</p> <p>ウ 社会科と他の教科との学習関連を示したイメージ図「他の教科などのかかわり」が巻頭に掲載されている。(全学年P5)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 読みやすさに配慮した、UDフォントが用いられている。</p> <p>イ 「この時間の問い」「次につなげよう」は、折り返しが多いため、読みやすさを考慮して改行されている。(3年P10、11、12等)</p> <p>ウ 性別、国籍の違い、障がいの有無に関わらず、多様な子どもが互いに協力し合いながら取り組む様子が描写されている。(全学年もくじ等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 学習場面に応じて動画やワークシート、クイズなどの活用をできるように、二次元コードが内容の種類が分かる記号とともに配置されている。</p> <p>イ ICT 機器を活用している学習の様子が掲載されている。(3年P18、5年P27、6年P15等)</p> <p>ウ 巻頭に、タブレット型コンピュータを活用した学習の仕方が掲載されている。(全学年P2-3)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 環境の保全に向けて意識を高められるように「SDGs とつなげて考えよう」のページが設けられている。(3年P162-163、5年P250-251、6年P66-67等)</p> <p>イ 多様な人々がともに生きる社会の形成に向けて意識が高められるよう、政治の学習の導入としてオリンピック・パラリンピックが取り上げられている。(6年P8-13)</p>

教科名 社会	種目名 社会	発行者番号 116	略称 日文	書名 小学社会
--------	--------	-----------	-------	---------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 習得すべき用語を「キーワード」として別枠に示し、簡潔に説明されている。(4年P15、5年P70、6年P71-78等)</p> <p>イ 必要な技能が身に付くように、「学び方・調べ方コーナー」を別枠で示し、二次元コードで資料を見る際のポイントが提示されている。(3年P15、P19、P26等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア まとめた後に「話し合う」活動が多く設定されている。(3年P40、P122-123、6年P114-115等)</p> <p>イ 学びを深め合うために、意見を複数出して話し合う活動、他者の意見を聞いて自分の考えを深める姿が提示されている。(3年P110-111、4年P70-71、5年P132-133等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 主にどのような力をつけるページなのかがわかるように、問題解決的な学習の過程と対応したインデックスがページ下に示されている。(3年P10、P14、P16等)</p> <p>イ 多面的に物事を考えられるようにコラム欄が随所に設けられている。(3年P105、4年P27、5年P213等)</p> <p>ウ 学習問題について掘り下げて追究できるように、「さらに考えたい問題」が例示されている。(3年P109、4年P65、5年P129等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 巻頭には当該学年で学習する内容、巻末には学習内容の振り返りや身に付けた力、次学年の学習内容が掲載されている。(6年P274-275、P276-277、P278-279)</p> <p>イ 学年に応じたグラフが掲載されていたり、「話すこと・聞くこと」「書くこと」に関する活動が積極的に取り入れられたりしている。(3年P33、P97、4年P70-71)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 誰にも見やすく、また、読みやすくなるようUDフォントが用いられている。</p> <p>イ 多くの児童に見やすいよう、グラフ・地図では、色調や色の組み合わせだけでなく、斜線やドットなども使用されている。(5年P27、P86、P122等)</p> <p>ウ 「わたし(たち)の問題」のコーナーについては、読みやすいまとまりで改行されている。(6年P10、P12、P14等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 学習場面に応じて動画やワークシート等の活用をすることができるように、二次元コードが適宜配置されている。</p> <p>イ ICT機器を活用している学習の様子や学習例が多く掲載されている。(3年P11-12、4年P201、5年P132-133等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 健康・消費者、防災・安全、情報・技術等、社会の変化に応じた諸課題に取り組むことができるよう、各学年で様々な教材がSDGsに関連付けて設定されている。(3年P54-55、4年P118-119、5年P130-131等)</p>

地图

教科名 社会	種目名 地図	発行者番号 2	略称 東書	書名 新編 新しい地図帳
--------	--------	---------	-------	--------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 地図記号、索引、方位、縮尺、地形表現などの基本的な地図の読み方について説明されている。(P9-14)</p> <p>イ 地球儀のよさについて、大きな写真を用いて、具体的に説明されている。(P53-54)</p> <p>ウ 学びを深めることができるよう、豊富なデジタルコンテンツ(二次元コード)が紹介されている。(⑥ア参照)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 日本の歴史を学びながら、同時代の世界の様子がわかる世界スケールの歴史地図を通して、歴史的な出来事と場所を関連付けて学ぶ構成になっている。(P77-80)</p> <p>イ 土地の利用について学習に関連付けながら学ぶことができるよう、土地利用のわかる地図記号が掲載されている。(P19-52)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 「ホップ↑ステップ↑マップでジャンプ↑」に70の問いがあり、地図学習を深められるよう工夫されている。(P3、P4、P6等)</p> <p>イ 全体を通して、キャラクターの言葉で、地図に関連した気付きやヒント等が掲載されている。</p> <p>ウ 資料地図・統計表では、テーマ毎に見開き1ページで大きく表現し、読み取りやすくなるよう掲載されている。(P67-86)</p> <p>エ 調べた履歴が残るように、索引にチェック欄が掲載されている。(P87-96)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 日本の水産業、農業、工業を同一ページにまとめて記載し、特徴が捉えやすくなるよう構成されている。(P71-73)</p> <p>イ 外国語での活用ができるように、世界地図に国名の欧文表記が併記されている。(P53-66)</p> <p>ウ 道徳、家庭科、国語などで学習する人物や記念館などの掲載があり、他教科と関連付けて掲載されている。(P59、P62、P82等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア ユニバーサルデザイン(わかりやすいレイアウト、文字のフォント・大きさ、文節の改行、色づかい)が採用されている。</p> <p>イ 世界の民族衣装のイラストから、多様な暮らしや生活文化について関心が高まるように配置されている。(P1-3)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 当該ページの地図などに関連した白地図やクイズ、動画などの多様なコンテンツや関連する外部コンテンツにつながるよう、二次元コードが掲載されている。(P4、P6、P9等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 北方領土、竹島、尖閣諸島は島名と国境線が明示され、北方領土については、「ロシアが不法に占拠を続けており、日本は一貫して返還を求めています」、竹島については、「韓国に不法に占拠され、日本は抗議を行っています」など記述されている。(P16、P19、P25)</p> <p>イ 日本の過去の自然災害に関する情報が見開きで記載され、ハザードマップも同ページに掲載されているので、自然災害とハザードマップの関連をとらえることができる。(P97-99)</p>

教科名 社会	種目名 地図	発行者番号 46	略称 帝国	書名 楽しく学ぶ 小学生の地図帳
--------	--------	----------	-------	---------------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 地図活用の技能を習得するための解説が丁寧に扱われている。(P7-20)</p> <p>イ 地球儀の特徴や使い方が詳しく掲載されており、また、使い方を動画で確認できるコンテンツ(二次元コード)がある。(P81-82)</p> <p>ウ 地図タイトルの二次元コードには、特色を理解しやすいよう、各都道府県の土地利用・交通など、各種地図が収録されている。(P33、P39、P45等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア テーマに沿った地図と比較関連させて考察できる資料を多数配置した資料図ページが掲載されている。(P55-56、P95-110)</p> <p>イ 地図全般に渡って絵記号・イラストが多数配置され、地図表現と関連付けて考えられるよう工夫されている。</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 地図に対する興味関心をひきつけ、地図活用技能や知識が身に付けられるように「地図マスターへの道」のコーナーが各所に配置されている。(P22、P24、P26等)</p> <p>イ 地図の見方や活用の仕方に児童自らが着目し、考えることができるようにキャラクターが配置されている。(P4、P7、P9等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 縮尺の違う日本地図が3種類掲載されており、学年や目的に応じて使い分けができる工夫がされている。(P22-30、P33-36、P37-38等)</p> <p>イ 世界地図のページは、世界の主要な国名や首都名等、英語表記が付記され、二次元コードで外国語表記の地図が収録されている。(P1-3、P83-94)</p> <p>ウ 国語や音楽でも活用できるよう、物語や音楽の舞台になったところなどに特別な凡例が設けられている。(P85-94)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア ユニバーサルデザイン(レイアウト統一、文字のフォント・大きさ、文節の改行、色覚特性に配慮した色づかいや地紋)が採用されており、また、配当学年に関わらずすべての漢字にルビがふられている。</p> <p>イ 世界地図のページに「集まれ!世界の子どもたち」のコーナーがあり、多様な暮らしや生活文化について関心が高まるよう工夫されている。(P83-94)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 地図タイトルの二次元コードからデジタルコンテンツにつながるようになっている。(①ウ参照)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 「日本の領土とそのまわり」として、北方領土、竹島、尖閣諸島は島名と国境線が明示されており、北方領土と竹島は「不法に占拠しています」と記述されている。(P31-32)</p> <p>イ 持続可能な社会の実現に向けた各地の課題や取組を理解できるよう、SDGsの特設ページが設けられ(P125-126)、さらにSDGs関連の写真や資料が各所に配置されている。(P70、P84、P101等)</p> <p>ウ 「日本の自然災害と防災」では、防災意識を高められるように自然災害の分布や事例、人々の努力が紹介されている。(P99-102)</p>

算数

教科名 算数	種目名 算数	発行者番号 2	略称 東書	書名 新しい算数
--------	--------	---------	-------	----------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア 巻末の「新しい算数プラス」に、難易度が2段階の補充問題が掲載されている。(2年下P104-107、3年上P129-135、4年下P125-132等) イ 児童のつまずきや誤答の多い問題を中心に復習するページ「おぼえているかな?」が設定されている。(3年下P43、4年下P49等) ウ 当該学年の学習内容に関係のある既習事項が、巻末「新しい算数プラス」の「ふりかえりコーナー」にまとめられている。(2-6年)
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 「学びのとびら」でノートづくりの例、「今日の深い学び」でノートの活用の例が示されている。(2年上P6-7、5年上P24-25等) イ 既習事項を生かした考え方、さらに学びを深めるための補助発問「同じように考えると」「それなら」が随所に記載されている。(2年上P60-61、4年下P54-55、6年P124-125等) ウ 巻末の「新しい算数プラス」に「おもしろもんだいにチャレンジ」として、発展的な問題が掲載されている。(2年下P109、3年下P114-116、6年P248-253等) エ 問題との出会いの過程及び自立的・協働的な問題解決の過程が、「今日の深い学び」として設定されている。(3年下P85-87、4年上P61-63、5年下P93-95等)
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 単元末には『『できるようになったこと』『次に考えてみたいこと』はどんなことかな。』が設定され、登場人物の対話形式により振り返りの具体例が示されている。(2-6年) イ 単元末に設定された「学習のしあげ いかしてみよう」では、学習内容を身近な生活場面でも生かせるような事例や問題が紹介されている。(2年上P47、3年上P63、5年下P39等)
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア スタートカリキュラムとして、1年入門期の学習に特化した分冊「あたらしいさんすう1 ①」(A4版)が用意されている。 イ 2年では倍と分数、3年では分数とわり算を関連付け、下学年から割合との関連を意識した素地指導ができるよう配慮されている。(2年下P86-87、3年上P124-125) ウ 5・6年「データの活用」単元では、日常生活で目にするデータについて批判的な見方を養うために「データにかくれた事実にせまろう」が新設されている。(5年上P120、6年P86)
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア 実物の写真が多数使用され、実生活との関連を意識しやすいように配慮されている。 イ 視認性を一層向上させるため、UD教科書体が採用されている。
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア 二次元コードで当該学年のデジタルコンテンツが利用できるようになっている。 イ 4年以上でPCプログラミング教材が設定されており、ブロックプログラミングが行えるようになっている。(4年上P135、5年上P124、6年P232-233等) ウ 全学年でコンピューターの適切な利用方法やネットリテラシーについて学べるように設定されている。(もくじ、二次元コード)
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア 「算数で読みとこう」で、防災や地球温暖化など、SDGsに関連したテーマが取り扱われている。(4年下P116-117、5年下P122-123、6年P188-189等) イ キャリア教育の視点で、各分野で活躍する方々の算数との関わりが紹介されている。(3-6年表紙・裏表紙、4年上・5年上・6年巻頭コラム)

教科名 算数	種目名 算数	発行者番号 4	略称 大日本	書名 たのしい算数
--------	--------	---------	--------	-----------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 毎時間の適用問題、それに対応した補充問題「プラス・ワン」が全単元に設定されている。(2年P230-242、5年P270-285、6年P258-270等)</p> <p>イ 単元末のたしかめ問題として、基礎基本のチェック問題やチャレンジ問題が掲載されている。(1年②P76、3年P72、4年P50-51等)</p> <p>ウ 該当単元に必要な既習事項を確認するための準備問題が、デジタルコンテンツで設定されている。(2年P85、4年P212、6年P133等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 各単元で大切な見方・考え方を確認するために、「見方・考え方をたしかめよう」が設定されている。(2年P65、3年P131、4年P51等)</p> <p>イ 単元末の「学んだことを生かそう」に発展問題が掲載されている。(3年P114、4年P161、5年P133等)</p> <p>ウ 巻頭に、それぞれの問題で使える見方・考え方が「算数の大切な考え方」「ひらめきアイテム」として提示されている。(2-6年P10-15)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 単元はじめに設定された「新しい学習がはじまるよ」では、写真やイラストで分かりやすく問題場面が紹介され、児童の興味・関心を引き出し、単元の見通しをもたせる工夫がされている。(1年②P80、2年P94、5年P96)</p> <p>イ 単元末に設定された「算数たまたまばこ」では、学習内容を生活場面につなげたり、発展的な問題への関心を高めたりする工夫がされている。(1年②P110、2年P136、6年P65等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア スタートカリキュラムとして、1年入門期の学習に特化した分冊(A4版)が用意されている。</p> <p>イ 2年で「ばい」、3・4年で「倍とかけ算、わり算」の単元が設定され、5年「割合」へ円滑につながるよう配慮されている。(2年P151-152、3年P242-244、4年P164-168等)</p> <p>ウ 「データの活用」領域の学習では、批判的思考力を育成するため、誤った読み取りについて話し合う活動が設定されている。(3年P35、5年P185等)</p> <p>エ 5年「小数のかけ算」と「小数のわり算」を連続で扱わず、間に別単元が設定されている。(5年P43-95)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア UDフォントの使用、カラーUDを踏まえた配色の工夫等、支援が必要な児童が読みやすいよう配慮されている。</p> <p>イ 外国にルーツのある児童が、キャラクターや写真で掲載されている。(1年②P127、3年P23、4年P33等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードにより、学年を超えてどの学年のデジタルコンテンツも利用できるようにされている。</p> <p>イ 全学年でPCプログラミング教材が設定されており、1学年からブロックプログラミングが行えるようになっている。(1年②P132-133、2年P82-83、3年P100-101等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 3年以上でSDGsに関連したテーマが取り扱われている。(3年P149、5年P262-263、6年P226-227等)</p>

教科名 算数	種目名 算数	発行者番号 11	略称 学図	書名 みんなと学ぶ 小学校 算数
--------	--------	----------	-------	---------------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 巻末に補充的・発展的な問題として、「ほじゅう問題」「ふかめよう」が掲載されている。(2年下P119-129、4年下P159-173等)</p> <p>イ 単元末に、単元で学んだ知識及び技能を確認する「できるようになったこと」が設定されている。(3年上P86、5年上P32等)</p> <p>ウ つまづきやすい内容について、「算数パトロール隊」のページが設定されている。(4年上P85、5年上P89、6年P123等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 問題解決の際に必要な見方・考え方をキャラクター化し(「考え方モンスター」)、使いたい見方・考え方のヒントが側注やまとめとして例示されている。(1年下P34、2年上P41、5年上P88等)</p> <p>イ 随所に多様な考え方、言葉やブロック絵、図を使った説明などの活動が取り入れられている。(1年下P49、3年上P49等)</p> <p>ウ 巻末の「ふかめよう」に、学んだことを活用する発展的な問題が掲載されている。(3年下P157-158、4年下P170-173、6年P244-247等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 単元はじめにはイラスト形式で「はてなを発見」(イラスト形式の読み物)が設定され、生活場面での登場人物のやりとりを通して、単元につながる疑問を引き出す工夫がされている。(2-6年)</p> <p>イ 単元末の「ふりかえろう!」「?をかいてつ」で学習してきた内容を捉え直し、「つなげたいな」でさらに次の学びにつなげるための視点が紹介されている。(2-6年)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 6年では、別冊「中学校へのかけ橋」があり、6年間の復習と中学校数学の先取り学習ができるようになっている。</p> <p>イ 2年以上の巻頭に設定された「〇年生で見つけた見方・考え方」では、前学年での学習を振り返ることができるようになっている。(2年上P10-11、3年上P10-11、4年上P10-11等)</p> <p>ウ 4マス関係表等の演算決定に関わる図が、各学年の学習内容と関連させて系統的に取り扱われている。(4年上P105、5年下P111、6年P76等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア すべての児童が読みやすいようにUDフォントが使われている。</p> <p>イ 教科書の版型をAB版にすることで、教科書上で作業をする際等にも広く使えるよう配慮されている。</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードにより、当該単元のデジタルコンテンツが利用できるようになっている。</p> <p>イ 全学年でプログラミング教材が設定されている。(1年下P80-81、2年下P114-115、6年P226-227等)</p> <p>ウ インターネットの正しい利用方法やネットリテラシーについて学べるよう設定されている。(6年P104-105)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 算数を使って実社会の様々な課題について考えていけるよう、全学年に各3回「算数をつかって」のアイコンが設定されている。</p> <p>イ 「算数をつかって」で扱う各課題には、関連するSDGsアイコンが掲載されている。(2年上P120-121、5年上P130-131、6年P210-211等)</p>

教科名 算数	種目名 算数	発行者番号 17	略称 教出	書名 小学算数
--------	--------	----------	-------	---------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 視覚的に理解が深まるよう、学習内容のまとめや作図、測定手順等を確認できる二次元コード「まなびリンク」が掲載されている。(4年上P49、5年P215、6年P79等)</p> <p>イ 巻末の「学びの手引き」に、当該学年までに必ず身に付けておきたい知識及び技能についてまとめられている。(2年下P118-123、4年上P166-175、5年P296-307等)</p> <p>ウ 単元末に学習内容のまとめ及び確認問題、巻末に「ステップアップ算数」として、補充的・発展的問題が掲載されている。(4年上P40-41、5年P34-35、6年P247-260等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 巻頭に「算数で使いたい見方・考え方」として、既習の「見方・考え方」が示されている。(2年上P4-5、3年上P4-5、5年上P4-6等)</p> <p>イ 「学びの手引き」の「友だちのノートを見てみよう」にノートの書き方の例が掲載されている。(3年上P30-31、4年上P30-31、5年P32-33等)</p> <p>ウ 学年末に、学習したことを活用する問題が設けられている。(2年下P102-103、3年下P116-119、4年下P132-135等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各単元のはじめには「どんな学習がはじまるかな？」が設定され、写真やイラスト形式で問題場面をつかみ、単元につながる気付きや疑問を引き出すよう工夫されている。(2-6年)</p> <p>イ 単元末の「学んだことをつかおう」では、生活場面につなげたり、学習内容を使って身近な問題を解決したりする場面が紹介されている。(2年上P58、3年上P35、4年上P22等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 1年では、2年以降の学び方につなげるため、「はてな？」→「なるほど！」→「だったら？」と問いを連続させて学べるように設定されている。(1年P113-115、P125-127)</p> <p>イ 5年「小数のかけ算」と「小数のわり算」を連続で扱わず、間に別単元が設定されている。(5年P48-100)</p> <p>ウ 2年以上の巻末にある「学びのマップ」では、前学年とのつながりや既習事項の一覧を掲載し、関連する内容を適宜確認できるように構成されている。(2年上P148-151、3年上P155-159)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア UDフォントの使用、カラーUDを踏まえた配色の工夫等、支援が必要な児童が読みやすいよう配慮されている。</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コード「まなびリンク」により、学年を超えてどの学年のデジタルコンテンツも利用できるようになっている。</p> <p>イ 1・2・4年にPCプログラミング教材が設定され、ブロックプログラミングが行えるようになっている。(1年P187、2年上P145、4年下P165等)</p> <p>ウ 3・6年に表計算ソフトを活用する教材が設定されている。(3年上P152、6年P270)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 巻末の「広がる算数」でSDGsや情報セキュリティに関連したテーマが取り扱われている。(5年P293、6年P269)</p>

教科名 算数	種目名 算数	発行者番号 61	略称 啓林館	書名 わくわく算数
--------	--------	----------	--------	-----------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 「たしかめよう」「ふりかえろう」で、学習内容の定着を図る問題が掲載されている。(1年 P68-69、3年上 P16-17、5年 P92-93等)</p> <p>イ 練習や復習のページが計画的に配置され、習熟度に応じてさらに取り組めるよう、巻末の「もっと練習」に補充問題や挑戦問題が掲載されている。(4年下 P118-127、5年 P258-270、6年 P246-257等)</p> <p>ウ 当該単元で必要な既習事項を確認するための準備問題が、巻末に掲載されている。(3年上 P130-131、4年下 P116-117、5年 P254-257等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 巻頭の「算数のとびら」に、ノートの書き方や「考えの進め方」が掲載されている。(3年上 P8-9、4年上 P8-9、5年 P8-9等)</p> <p>イ 価値付けたい数学的な見方・考え方が網かけされたり、キャラクターの吹き出しに問いかけの形でヒントが示されたりしている。(3年上 P23、4年下 P34、5年 P35等)</p> <p>ウ 「見方・考え方を深めよう」に、問題解決の際に有効な考え方や図・表等のかき方が系統的に取り上げられている。(2年上 P114-117、3年上 P32-35、5年 P94-95等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 単元はじめには、児童が学習の見通しや視点を明確にできるよう、「学びのめばえ」マークと「これから学習することのめあて」が設定されている。(2-6年)</p> <p>イ 単元末には、単元全体を振り返って大切な見方・考え方などを確認し、さらに発展的に考え、活用・探究へと向かえるよう、「ふりかえろう」「やってみよう」が設定されている。(各学年)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 1年の教科書を分冊にして、「すたあとぶっく」(A4版)でスタートカリキュラムに対応している。</p> <p>イ 4年以上では、「数学へのとびら」や「はってん中学校〇年」のマークで、算数と中学校数学とのつながりが示されている。(4年上 P83、5年 P93、6年 P169等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 単元はじめの問題解説動画では、児童が自分のペースで個別に学習できるように解説されている。(3年下 P57、5年 P172等)</p> <p>イ すべての児童が読みやすいようにUDフォントが使われている。</p> <p>ウ 多様性を意識したキャラクターが多数設定されている。(各学年)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードにより、学年を超えてどの学年のデジタルコンテンツも利用できるよくなっている。</p> <p>イ 全学年でPCプログラミング教材が設定され、1年からブロックプログラミングが行えるよくなっている。(1年 P94-95、3年下 P52-53、6年 P186-187等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア SDGsや防災に関連したテーマが取り扱われている。(3年下 P104-107、4年下 P106-109、5年 P165等)</p> <p>イ キャリア教育の視点で、各分野で活躍する方々の算数との関わりが紹介されている。(6年 P230-240)</p>

教科名 算数	種目名 算数	発行者番号 116	略称 日文	書名 小学算数
--------	--------	-----------	-------	---------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 単元はじめに「次の学習のために」として、既習事項を振り返り、確認する問題のページが設けられている。(3年上P63、4年下P59、5年P199等)</p> <p>イ 単元末の「わかっているかな」「たしかめよう」でまちがしやすい問題や学習内容を確認する問題が掲載されている。(3年上P123-124、4年上P63-64、5年P51-52等)</p> <p>ウ 巻末の「算数マイトライ」に補充問題「しっかりチェック」が掲載されている。(2-6年)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 「算数マイトライ」に、「ぐっとチャレンジ」「もっとジャンプ」として、応用・発展的な問題が掲載されている。(2-6年)</p> <p>イ 「自分で みんなで」では、問題解決型の学習過程が示されている。(3年下P81-83、5年P23-25、6年P159-161等)</p> <p>ウ 巻頭に、ノートの書き方、算数の学び方が掲載されている。(3年上P2-7、4年上P2-7、5年P2-7等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 単元末に設定された「～の学習をふり返ろう。」では、振り返りの具体例が示されている。(2-6年)</p> <p>イ 「自分で みんなで」では、学習したことを生かしながら児童が主体となって学びの過程を進められる内容構成となっている。(1年②P127-129、2年上P23-25、4年下P83-85等)</p> <p>ウ 「データを集めて調べて問題を解決しよう」では、データを活用した問題解決(PPDAC サイクル)の全ての過程がイラストによる読み物形式で特集されている。(6年P92-100)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 1年入門期の学習に特化した分冊(B5版)が用意されている。</p> <p>イ 6年の巻末「もうすぐ中学生」で、中学校1・2年の数学の内容が扱われている。(6年P243-250)</p> <p>ウ 学校での生活場面や他教科との関連の深い題材が取り上げられている。(2年上P15、3年上P38、5年P95等)</p> <p>エ 「学び方ガイド」「算数で使いたい見方・考え方」についての下敷き付録があり、問題解決過程の4ステップや自分の考えを表現する観点等が示されている。(2-4年上、5・6年最終ページ)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア UDフォントの使用、カラーUDを踏まえた配色の工夫等、支援が必要な児童が読みやすいよう配慮されている。</p> <p>イ 学習時期に合わせて季節の草花や動植物、風物などが問題場面に描かれ、日本の四季が感じられるよう配慮されている。(1年②P14、P40、2年上P82等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードにより、学年を超えてどの学年のデジタルコンテンツも利用できるようになっている。</p> <p>イ 全学年でプログラミングに関連する題材が設定され、5・6年ではPCプログラミング教材でブロックプログラミングが行えるようになっている。(1年②P140、3年下P114-115、6年P202-203等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア SDGsに関連したテーマが取り扱われている。(5年P252-255、6年P196-199)</p> <p>イ 日本の伝統文化に関する題材が取り扱われている。(3年上P122、5年P172、6年P142-143等)</p>

理科

教科名 理科	種目名 理科	発行者番号 2	略称 東書	書名 新編 新しい理科
--------	--------	---------	-------	-------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 問題とまとめを正対した表現にするとともに色を統一し、まとめは箇条書きで大きく示されている。(3年P44とP46、4年P80とP84、5年P8とP10等)</p> <p>イ 単元末に学んだことをまとめた「ふりかえろう」と活用問題「たしかめよう」が掲載されている。(3年P33-34、4年P27-28、5年P17-18等)</p> <p>ウ 巻末資料に知識の定着を図れるよう、用具の使い方や1年間の振り返りが示されている。(3年P165-173、4年P184-197、6年P186-197等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 巻末にノートや記録のかき方や、効果的な記録の取り方について示されている。(3年P162-164、4年P180-181、5年P152等)</p> <p>イ 問題解決の力を重点的に育成する場面が、「のぼそう!理科の力」のマークにより強調されている。(4年P52、5年P23、6年P14等)</p> <p>ウ 「考えよう」で、問題解決のより妥当な考えをつくりだす力を確認する問題が設定されている。(6年P58、P88、P134等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア ダイナミックな写真と簡易なメッセージや問いかけ、章のはじめの「レッツトライ」で児童を理科の世界に引き込む工夫がされている。(表紙、巻頭ページ、3年P42-43等)</p> <p>イ 「こんなところにも!理科の世界探検部」を掲載し、学習後に日常との関連を実感して学習意欲が高められるよう工夫されている。(3年P67、4年P49、6年P89、P173等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 巻頭に当該学年で学ぶこと、巻末に「1年間をふりかえろう」が配置され、系統立てて見直しと振り返りが行えるよう工夫されている。(全学年P2-3、3年P172-173、4年P196-197等)</p> <p>イ 学習内容を「物のはたらき」「物の性質」「生命」「地球」の4つのテーマで整理し、系統性を意識できるよう構成されている。(全学年P2-3)</p> <p>ウ 既習内容や他教科、生活経験との関連を図ることができるように「思い出そう」が設定されている。(3年P87、4年P16、5年P94等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 多色の使用を控え、全体的に緑とオレンジで色調を統一し、またA4判で本文の文字を大きくし、見やすくなるよう配慮されている。(3・4・5年P6-7等)</p> <p>イ 写真やイラストに登場する人物の男女比率や役割に偏りが無いよう配慮されている。(3年P2、6年P45、P182等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 実験方法、ワークシート、ドリル、資料、話し合いの例等の二次元コンテンツが設定されている。(4年P80、5年P27、6年P123等)</p> <p>イ 巻末の「理科の調べ方を身につけよう」で、ICT端末を使って学びを深めたり広げたりできるよう工夫されている。(4年P184、5年P154、6年P186等)</p> <p>ウ 巻末に「理科とプログラミング」の欄を設け、実際にブラウザ上で体験できるよう工夫されている。(全学年最終ページ)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア SDGsと関連深い内容にはSDGsアイコンを配し、意識を高められるよう配慮されている。(6年P9、P180-182、P198等)</p> <p>イ より多くの写真をもとに、身近な自然や郷土に興味を持つことができるよう工夫されている。(6年P118-119等)</p>

教科名 理科	種目名 理科	発行者番号 4	略称 大日本	書名 新版 たのしい理科
--------	--------	---------	--------	--------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 学習内容の関連を確認できるよう、下位学年の既習内容が「〇年で学んだこと」として示されている。(4年P25、5年P20、6年P22等)</p> <p>イ 基礎的、基本的な知識及び技能の定着を図るため、単元末に「確かめよう」「ふり返ろう」が設定されている。(3・4年P12、5年P18、6年P20等)</p> <p>ウ 複数の内容をまとめた「学びをリンク！」のページで、知識を妥当性の高いものに更新できるよう工夫されている。(5年P170-171、6年P192-193等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 各学年で、重点的に育成を図りたいところが星印で示されている。(各学年P2、3年P65、4年P42等)</p> <p>イ 思考力、判断力、表現力等を十分育成できるよう、5・6学年の巻末に「チャレンジ問題」が掲載されている。(5年P192-193、6年P230-231等)</p> <p>ウ 学びの活用・深化を意識し、「科学館・博物館に行ってみよう」が掲載されている。(5年P188-189、6年P226-227)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 理科を学ぶ意義や有用性を認識しようとする態度を育むため、「学んだことを生かそう」や「サイエンスワールド(発展)」が配置されている。(3年P150、P165、4年P184-185等)</p> <p>イ 生命を尊重する態度を育てる場面や自然環境と人間の共生について考える場面に「環境」マークが掲載されている。(4年P11、5年P37、6年P19等)</p> <p>ウ 大判の紙面で、ダイナミックな写真やイラストを使用することで、学習に対する意欲を高められるよう工夫されている。(3年P14-15、5年P102-103、6年P124-125等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各学年とも巻末に「理科の学びに役立てよう」があり、他教科とのつながりについて表記されている。(3年P191-204、4年P211-228、5年P172-194等)</p> <p>イ 理科室で使用する実験器具が重複しないよう、学年の単元の配列が工夫されている。</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア イラストや写真において外国にルーツをもつ人々を適宜掲載し、人種の異なる人々への理解を促すことができるよう工夫されている。(3年P29、4年P197、5年P11等)</p> <p>イ 海外の文化や地球規模の話題、国際協力等についての資料が「英語」マークをつけて掲載されている。(3年P36、5年P60、6年P102等)</p> <p>ウ 登場する人物やキャラクターの台詞(吹き出し)が多く、児童にとって読みやすいレイアウトになっている。(3年P6-7、4年P22、5年P54-55等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 写真や動画撮影のポイントやインターネットを使用する際の検索方法、注意点が分かりやすく説明されている。(4年P217、5年P179、6年P215等)</p> <p>イ 二次元コードがページ下部に配置されており、リンク先の内容が掲載されている。(4年P6、5年P11、6年P4等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 理科の学習と仕事を関連付けた内容がコラムで紹介されている。(4年P228、5年P167、6年P102等)</p> <p>イ 観察や実験における環境保全のための具体的な注意点が示されている。(4年P70、5年P151、6年P121等)</p> <p>ウ 実際に役立つ防災の備えを学べるよう工夫されている。(5年P58-60、6年P146-149等)</p>

教科名	理科	種目名	理科	発行者番号	11	略称	学図	書名	みんなと学ぶ 小学校 理科
-----	----	-----	----	-------	----	----	----	----	---------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア まとめのページが上・中・下段で構成され、比較しやすいよう配慮されている。(4年P172-P173、5年P172)</p> <p>イ 単元冒頭のデジタルコンテンツ「思い出そう」の練習問題で、見方・考え方や知識及び技能を振り返ってから新たな学習に取り組めるよう工夫されている。(4年P6、5年P20、6年P30等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 記録や発表の方法を複数提示し、児童自身が選択することによって個別最適な学びができるよう工夫されている。(3年P12、P13)</p> <p>イ 全学年「考えよう調べよう」のページが設定され、伝え合う際の話型や記録の取り方について具体的に示されている。(3年P168-P181、4年P188-201、5年P176-189等)</p> <p>ウ 問いと対応させて整理するつくりにより、汎用的で論理的な思考力を養うことができる構成になっている。(5年P126-127)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 単元の中で学びを完結させないよう、自由研究のページを充実させている。(4年P86-87、5年P64-65、6年P82-83)</p> <p>イ ともに学び深め合えるよう、働かせる見方をGoogleで示し、付けたい力を「理科モンスター」として登場させ、本文と連携させている。(全学年P3-4、3年P6-7、4年P16-17等)</p> <p>ウ 「もっとしりたい」「やってみよう」で、学習したことをくらしとつなげ、深い理解となるよう工夫されている。(4年P64-65、5年P63、6年P97等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各学年とも「大地」「生命」「もののはたらき」「ものの性質」でテーマを整理し、系統性についての意識を高める工夫がされている。(全学年P2-3)</p> <p>イ 算数や社会科など他教科との関連を図ることができるよう工夫されている。(4年P19、5年P16、6年P214等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 理科用語を太字にしている。(3年P28、4年P41、5年P29等)</p> <p>イ 実験や観察の注意が肯定的な言葉で表現されている。(3年P27、4年P33、6年P171等)</p> <p>ウ 「考えよう調べよう」では、実験器具の使い方等が写真やイラストを添えて掲載されるとともに、一つ一つの手順にチェック欄が設けられている。(3年P178-181、4年P196-201、5年P182-189)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 本文中や巻末の「考えよう調べよう」で、調べ方に応じたICTを活用した記録や共有の事例が示されている。(3年P89、5年P181、6年P141等)</p> <p>イ 二次元コードのリンク先に資料動画だけでなく、太陽の動きとかげのシミュレーションなど、動かして確かめるコンテンツが配置されている。(3年P32、4年P84)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 日本各地の様々な地域に関わるコラムや写真を紹介することで、郷土に対して興味を持つよう工夫されている。(5年P98-99、6年P152-153、P208-209等)</p> <p>イ 児童が日頃から理科の学習を通して、防災について考えることができるよう配慮されている。(4年P64-65、5年P121、6年P149等)</p>

教科名 理科	種目名 理科	発行者番号 17	略称 教出	書名 未来をひらく 小学理科
--------	--------	----------	-------	----------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 巻頭と巻末ページに「〇年生で学んだこと」が示され、その学年で学んだことが一目で分かるとともに、前年度の学習とのつながりが意識できるようになっている。(3年 P186-187 と 4年 P2-3、4年 P226-227 と 5年 P2-3、5年 P202-203 と 6年 P2-3)</p> <p>イ 「学習の進め方」と「ノートのとり方」を見開きで示し、思考が整理しやすくなるよう工夫されている。(全学年 P6-7)</p> <p>ウ 「ふり返ろう」「確かめよう」で基本的事項の定着を図ることができるよう工夫されている。(3年 P60-61、5年 P188-189、6年 P136-137 等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 実験や観察における代替案が示されている。(3年 P109、4年 P135、5年 P79 等)</p> <p>イ 学年で付けたい力を「〇年のチカラ」と示し、その力を付ける場面ではアイコンが配置されている。(3年 P22、4年 P10、5年 P10 等)</p> <p>ウ 実験結果は予想と結果が一致しなかった例も示し、その原因を考えられるようなつくりになっている。(4年 P46、5年 P32、6年 P166 等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 登場するキャラクターの単元の学習前から学習後への成長に重ね合わせて、自分の成長が実感できるよう工夫されている。(3年 P18、P32、P48 等)</p> <p>イ 全学年、巻末に科学の専門家の「メッセージ」を掲載し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求めめる大切さが説明されている。(3年 P192、4年 P232、5年 P208 等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 「自分たちの考えをつたえ合い、学び合おう」では、国語で学んだ力を生かす方法について説明されている。(全学年 P5)</p> <p>イ 単元中や巻末の「算数とのつながり」では、学んだことと算数との関連がわかるよう工夫されている。(4年 P26、5年 P25、6年 P217 等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 写真やイラストが大きくはっきりしていて、視覚的に興味を高められるよう工夫されている。(3年 P20-21、5年 P98-99、6年 P42-45 等)</p> <p>イ 学習する理科用語が黄色の塗りつぶしで強調されている。(3年 P42、4年 P194、5年 P51 等)</p> <p>ウ 児童のイラストや写真で、性別、人種、身体的な特徴や障がい等について配慮されている。(3年 P183、4年 P50、6年 P14 等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードからリンクした web 図鑑を備え、植物、昆虫、鳥、天体、気象、SDGs について主体的に調べられるよう工夫されている。(3年 P13、4年 P92、5年 P187 等)</p> <p>イ コンピュータやタブレット等の活用が想定される場面には、「コンピュータ」や「カメラ」のマークがつけられている。(3年 P63、4年 P67、5年 P15 等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 教科担任制を見据えて、課題とされる継続観察の難しさに対し、観察時刻を指定しないなどの配慮がなされている。(4年 P27、5年 P11、6年 P141 等)</p> <p>イ 全学年「理科室の使い方」で、理科室での感染症対策や地震時の避難行動について説明されている。(3年 P183、4年 P223、6年 P215 等)</p> <p>ウ 全学年で SDGs と理科のつながりが掲載されている。(全学年 P1、6年 P197-209、P220-221)</p>

教科名 理科	種目名 理科	発行者番号 26	略称 信教	書名 楽しい理科
--------	--------	----------	-------	----------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 的確にまとめる力を育成するために、見本となる図や文のかき表し方や、まとめ方が丁寧に示されている。(3年P62、4年P30、5年P66-67等)</p> <p>イ 「しりょう」には、読んだり調べたりすることで知識・理解を広げられるよう、学習内容に関わる幅広い内容が示されている。(4年P17、5年P142、6年P91等)</p> <p>ウ 全学年「理科の学習の進め方」が同じ内容で掲載され、教師の台詞に当該学年のキーワードが表記されている。(全学年P4-5)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 観察カードの配置を効果的に行い、動植物の変化が捉えやすくなるよう、工夫されている。(3年P26-29、4年P63-67、5年P46-47等)</p> <p>イ 追究のポイントや過程が的確に把握できるよう、学習の流れが簡潔に示されている。(4年P18-21、5年P102-105、6年P39-43等)</p> <p>ウ 問題解決を図るための発想や対話的な学習につながるよう、「方法を考えてみよう」が設けられている。(5年P115、6年P48、P170等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 「しらべてみよう」では、単元で学習した事項を適用できるものを教材化し、日常生活への応用や科学的なものの見方・考え方が高められる構成になっている。(3年P105、4年P183、5年P21等)</p> <p>イ 多様な追究方法を体験できるよう、「やってみよう」が設定されている。(4年P69、5年P30、6年P22等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 単元のはじめに既習の学習を想起させる「思い出そう」が掲載され、単元中、単元末に、上位学年へのつながりが「はってん」として取り上げられている。(3年P70、4年P74、6年P91等)</p> <p>イ 目次のページ下に観察や栽培の時期が明記されている。(全学年P2-3)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 話し合いの場面で、多様性を意識した児童のイラストが掲載されている。(3年P100、4年P79、6年P52等)</p> <p>イ 「わかったこと」が短い言葉でシンプルに表記されている。(3年P23、4年P108、6年P144-145等)</p> <p>ウ 単元における重要な理科用語が太字で表記されている。(3年P55、4年P122、5年P22等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 興味を持ったことを詳しく調べられるよう、二次元コードで動画資料や図鑑などが提示されている。(3年P22、4年P113、5年P119等)</p> <p>イ 効果的な ICT 機器の活用を促すため、観察記録にデジタルカメラやタブレットパソコンを使う例が示されている。(3年P6、4年P71、5年P69等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 観察や実験を安全に行うため、「注意」マークが目立つように表示されている。(3年P99、4年P139、5年P56等)</p> <p>イ 学年の発達段階に応じて、必要以上に植物を採取しない、観察し終えた生き物は元の場所に戻すなど、環境への配慮を促す記載がされている。また、SDGsについてもふれるよう配慮されている。(3年P6、5年P49、6年P184-185等)</p>

教科名 理科	種目名 理科	発行者番号 61	略称 啓林館	書名 わくわく理科
--------	--------	----------	--------	-----------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 要点を振り返り整理することができるよう、「まとめノート」が提示されている。(3年P117、4年P25、6年P65等)</p> <p>イ 単元末の「たしかめよう」に知識及び技能の定着を図る問題が掲載されている。(3年P38、4年P100、5年P48等)</p> <p>ウ スマート解説により、基礎基本の定着を個別最適に図ることができるよう工夫されている。(3年P57、5年P49、6年P23等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 単元末の「活用しよう」では、図や写真から情報を読み取らせ、思考力を育むことができるよう構成されている。(3年P106、4年P88、6年P22-23等)</p> <p>イ 「これまでの学習をつなげよう」では、複数の単元や学年にまたがった内容が一覧となって整理されている。(4年P180-181、5年P100-101、6年P86-87等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 問題解決の適所で「もっと知りたい」を設定し、新たな問題発見に向かう意欲を高めて、学びの連続性が意識できるよう工夫されている。(3年P112、4年P32、6年P108等)</p> <p>イ 「くらしとリンク」では、日常生活で学びを生かし、理科を学ぶ意義や有用性が実感できるよう工夫されている。(4年P57、5年P30-31、6年P113等)</p> <p>ウ 「自然を大切に」「SDGs」マークを配置し、自然を愛する心情や生命を尊重する態度を育むことができるよう配慮されている。(3年P11、4年P11、5年P43等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各学年において、算数とのつながりを考えて学習できるよう「算数のまど」が掲載されている。(3年P180-181、4年P194-195、5年P186-187等)</p> <p>イ 「思い出そう」で、生活経験や前学年の内容を想起させるなど、系統性を高められるよう工夫されている。(4年P39、5年P9、6年P49等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア UDフォント、配色、文字の縁取りの工夫がされている。(3年P49、4年P79、6年P102等)</p> <p>イ 掲載しているイラストや写真が、ジェンダーや人種、福祉等に配慮されている。(3年P65、4年P90、6年P97等)</p> <p>ウ 個別最適な学びをサポートする二次元コードが配置されている。(4年P26、5年P80、6年P162等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 動画をはじめとした各種資料、ワークシート、プログラミング体験、ドリルなど多彩なデジタルコンテンツが準備されている。(3年P38、4年P39、6年P118等)</p> <p>イ タブレット端末など、ICT機器を学習の中でどのように活用したらよいか紹介されている。(3年P4-5、4年P13、6年P117等)</p> <p>ウ 映像から情報を読み取り、端末上で問題に答える CBT コンテンツが準備されている。(全学年最終ページ)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 「with the Earth」で、科学の視点で捉えた防災、減災、自然からの恵み等について紹介されている。(4年P37、5年P24-25、6年P144-147等)</p> <p>イ SDGsに関わる内容について、二次元コードのリンクから、より詳しい情報を調べられるよう工夫されている。(4年P105、5年P161、6年P202等)</p> <p>ウ 全国各地のジオパークを紹介し、郷土の大地の成り立ちに興味・関心が持てるよう工夫されている。(6年P148-149)</p>

生活

教科名 生活	種目名 生活	発行者番号 2	略称 東書	書名 新編 あたらしい せいかつ
--------	--------	---------	-------	---------------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア 「かつどうべんりてちょう」や「やくそく」で、学習活動に即した習慣や技能を身に付けられる資料が設けられている。(上 P15、P17、下 P103-120 等) イ 「かんさつずかん」や「生きものずかん」などで、観察したり記録したりする際の視点が示されている。(上 P34-35、下 P18-19、P40-41 等)
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 単元で目指す児童の気づきが写真、挿絵、吹き出し、表現作品などで具体的に示されている。(上 P20-21、P36-37、下 P4-5 等) イ 「学びをふかめる」で児童が「見方・考え方」を働かせたり、気づきの質を高めたりする様子が具体化して例示されている。(下 P14-15、P50-51、P74-75) ウ 「やってみよう 考えよう」と「やってみよう くふうしよう」で、気づきを基に多様な学習活動が行えるよう工夫されている。(下 P114-115、P116-117)
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア すべての単元扉が見開き構成となっており、児童の意欲を高められるダイナミックな写真が掲載されている。(上 P14-15、下 P8-9 等) イ 自分自身の成長を次の活動や自分の生活に生かそうとする児童の姿が、写真や挿絵、吹き出し、表現作品などに示されている。(上 P21、下 P53、P101 等)
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 「がっこうせいかつ すたあと」で、幼児教育での育ちを基礎に、入学後、自立に向かう児童の姿が示されている。(上 P1-13) イ 2 学年間を見通して、関わる対象や育成する資質・能力などが上巻から下巻へ段階的に高まるように単元が構成されている。(動植物の飼育・栽培に関して：上 P26-37、下 P8-19 等) ウ 紙面右端に他教科の学習を生かすことが効果的な活動例が掲載され、カリキュラム・マネジメントに役立てられる。(上 P15、P51 等)
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア 多様な他者と協働する場面が、絵、写真、二次元コードで掲載されている。(目次下、上 P18-19、下 P3 等) イ 小単元名、本文、やくそくなどが、すべての単元で同じ位置に配置され、ユニバーサルデザインが意識されている。(上 P16-17、P40-41 等) ウ すべての児童の読みやすさに対応し、紙面は落ち着いた淡い色調で統一され、UD フォントが使用されている。 エ 挿絵が見やすく、すっきりとしている。(上 P42-43、P66-67 等)
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア 継続的な栽培活動や振り返り活動、表現や交流活動等の場面で、効果的な ICT 活用の具体例が例示されている。(上 P16、下 P13 等) イ 二次元コードが多数用意され、動画は「NHK for school」等が個別に視聴できたり、「おもちゃ図かん」を活用できたりし、個別最適な学びへの対応が意識されている。(上 P7、下 P54-55)
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア SDGs に関連する内容について、児童が考えられるような活動例が紹介されている。(上 P44、P84 等) イ 安心安全に配慮した資料や熱中症や病気感染症への対策・対応が掲載されており、紙面右下に「てをあらおう」「どうぐをたたくあんぜんにつかおう」などタブを設けて示したりしている。(上 P23、下 P49-55)

教科名 生活	種目名 生活	発行者番号 4	略称 大日本	書名 新版 たのしいせいかつ
--------	--------	---------	--------	----------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 「がくしゅうどうぐばこ」を設け、児童が活動に即して基本的な知識及び技能の習得を図ることができるよう配慮されている。（上 P8-9、P40-41、下 P114-125）</p> <p>イ 校外学習などで、安全に気を付けて活動できるように、「やくそく」「ちゅうい」が示されている。（上 P27、P47、下 P17 等）</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 活動や体験の過程において、児童が気付いたり、気付きの質を高めたりできるようなつぶやきが、吹き出しで豊富に掲載されている。（上 P18-19、下 P36-37、P78-79 等）</p> <p>イ 「せいかつことば」「きらきらことば」を設け、児童の語彙力向上、豊かな表現力の育成が図られている。（上 P7、P53、下 P43 等）</p> <p>ウ 書き込みの欄が設けられ、児童が自ら振り返り、自分の成長を実感できるよう配慮されている。（上 P34、P54、下 P53 等）</p> <p>エ 絵や文章だけでなく、動作化や劇化など多様な表現方法が例示されている。（上 P72、下 P75、P104-105 等）</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 児童の目線に立った活動写真やイラストで、児童の興味・関心を刺激できるよう配慮されている。（上 P38-39、P82-83、下 P80-81 等）</p> <p>イ 子どもの意欲をさらに伸ばし、活動の視点を示唆するカード等があり、多様な活動へとつなげている。（上 P16-17 間、下 P42-43）</p> <p>ウ 学校で学んだことが家庭や地域で実行できるヒントとなるよう紙面構成が工夫されている。（上 P77、P116-117、下 P54-55 等）</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 入学式から最初の 3 日間を表したページを設けるなど、幼児教育からのつながりが意識されている。（上 P2-7）</p> <p>イ 合科的・関連的な指導が効果的と思われる場面が示されている。（上 P6-7、P38-39、下 P14-19 等）</p> <p>ウ 総合的な学習の時間の流れを意識し、自ら問題を発見し、思考錯誤していくモデルを生活科に置き換えて示されている。（下 P2-3）</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア UD フォントを使用し、低学年であることを考慮して教科書体を採用し、分かち書きや文節の改行もされている。</p> <p>イ 色覚の特性によらず、情報を読み取ることができるよう配慮されている。</p> <p>ウ 写真やイラストの男女比に配慮し、性別により服装や役割が固定化しないようにしながら、多様な人々と関わる様子が示されている。（上 P1、P28-29 等）</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア ICT の活用が効果的な活動場面が示されており、一人一台端末を使う場の例示がされている。（上 P24、P71、下 P47）</p> <p>イ 導入の意欲付けの場面や、おもちゃ作りなどの個に合わせた場面に動画が視聴できるようになっている。（上 P16-17 間、下 P90-91）</p> <p>ウ 裏表紙についている二次元コードで、上下巻両方のデジタルコンテンツが見られ、検索もできる。</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 地域を学習対象とした生活科活動が示されており、他の地域の様子にも目を向けられるよう工夫されている。（上 P81）</p> <p>イ 持続可能な開発目標 SDGs について、生活科の活動と結び付けて考えられるよう解説されている。（上 P59、下 P49-51 等）</p>

教科名 生活	種目名 生活	発行者番号 11	略称 学図	書名 みんなとまなぶ しょうがっこうせいかつ
--------	--------	----------	-------	---------------------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法 (活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア 「生活科学び方図かん」の中に、調べ方や伝え方、聞き方、道具の使い方等、活動の参考となる学び方が具体的に示されている。(上P125-136、下P113-128等) イ 児童の活動の保障のために、「ものしりノート」や「ものしり図かん」に資料や季節・地域に合わせた資料が掲載されている。(上P58-59、下P52-53等)
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 挿絵のキャラクターの言葉に、気付きや評価の観点が組み込まれ、児童の思考を深められるよう工夫されている。(上P16-17、P29、下P14-15) イ 発達段階に応じたワークシートの例示が掲載されており、自分の成長への自覚を促すため、単元末にそれまでの記録カードがまとめて掲載されている。(下P57、P73、P94-95等)
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 全ての単元扉ページに見開きで写真が掲載されており、活動への意欲が持てるよう工夫されている。(上P26-27、P48-49、下P22-23等) イ ページ見開きがひとつの活動単位とされており、学びの連続性を重視し、最後の言葉や挿絵が次への課題につながる構成になっている。(上P72-73、下P24-25等) ウ 活動を広げ、自分自身の生活につなげるように、単元末に「もっとやってみたいな」が設けられている。(上P76-77、下P74-75等)
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 上巻の冒頭に「はじまるよしょうがっこう」を設け、情報量を限定したイラストと写真、短い言葉でスムーズに安心して学校生活に適應できる構成になっている。(上P2-11) イ 他教科との関連が、挿絵のキャラクターの様子や活動の写真の様子、作成物や絵手紙等の例示によって紹介されている。(上P43、下P56、P69等) ウ 上下巻ともに、表紙が1年間の見通しの立つ絵で示されている。
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア 外国にルーツのあるキャラクターの挿絵や多様な言語表記の案内板の写真など、他国の文化に目を向け、自分との関わりで考えられるよう配慮されている。(上P78-79、下P1、P9等) イ 幼児、高齢者、障がいのある人との関わりや写真や挿絵の掲載、身近な福祉設備を取り上げることで、多様な人々との関わりや配慮が取り扱われている。(上P79、P114-115、下P30-31等)
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア インタビューや書籍を用いた調査以外にも、多様な情報収集の手段や場面が示されている。(下P41、P105等) イ タブレット端末などのICT機器、インターネットの活用場面が写真やイラストで示され、また、「学び方図かん」に情報モラルに関する内容が掲載されている。(上P33、下P30、P125等)
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア 「できることから始める」を基本に、資源の分類・再利用を活動の中で約束事として示し、普段の生活で身に付くよう配慮されている。(上P91、下P74、P89等) イ 健康・衛生・安全面について注意を必要とするページには、「手洗いうがい」「注意」のマークを示すほか、手洗いの仕方や登下校の注意点がイラストで示されている。(上P6、P72、下P127-128等)

教科名 生活	種目名 生活	発行者番号 17	略称 教出	書名 せいかつ
--------	--------	----------	-------	---------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 「学びのポケット」に、生活習慣、学習技能態度、学び方等の習得のため、ものの見方や考え方、言葉や道具の使い方などが、絵や写真とともに具体的に説明されている。(上P117-129、下P109-129)</p> <p>イ 小单元ごとに、6つの育てる力の中で最も育てたい力が「サイコロ」で紙面左上に示されている。(上P12、P18、下P70等)</p> <p>ウ 「のはらのカレンダー」で、同じ動植物の季節ごとの写真が提示されている。(上P106-107)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 活動に関連して、気付きを促したり、気付きの質を高めたりすることができる「ヒント」の欄や「？」が設けられている。(上P57、P72、下P44等)</p> <p>イ 自分の生活や成長の自覚を促す振り返りの場面が、「ぐんぐんはしご」で設定されている。(上P21、P37、下P15等)</p> <p>ウ 「何をかんじたかな」では、ワークシートや児童同士の会話から、学習で得た気付きを質的な面から捉えられるように、見取りの例が示されている。(上P36-37、下P60-61、P70-71等)</p> <p>エ 思考ツールの例示が記載されている。(下P57、P99)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 活動の動機付けができるように、単元の導入に「わくわくスイッチ」が設定されている。(上P11、下P5)</p> <p>イ 動植物資料をクイズにし、答えを別のページに示すなど、児童の意欲を引き出すよう工夫されている。(上P98-99、下P18-19)</p> <p>ウ 「もしも」のページで知識と体験を結びつけ、想像力と創造力を磨くことができるよう工夫されている。(上P39、P63、下P108)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」を表したイラストを取り入れることにより、幼児教育からのつながりが示されている。(上P4-8下段)</p> <p>イ 各小单元に「学びのポケット」とのつながりが設定されており、「学びのポケット」には各教科と関連が明示されている。(上P26、P117、下P26、P109等)</p> <p>ウ 上下巻に、絵や写真を用いて、1年間の学びの振り返りと次学年へのつながりが示されている。(上P112-113、下P104-105)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 障がいのある児童や外国にルーツのある児童も一緒に協働的に学ぶ姿が、絵や写真で掲載されている。(上P78、下P30、P96等)</p> <p>イ 家族やその仕事の様子、図書館の施設・設備など、多様な人々やその在り方が掲載されている。(上P88、下P28-29)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードを通じて、ワークシートや動画・デジタル図鑑など「まなびリンク」のコンテンツに接続することができる。(上P45、下P35)</p> <p>イ ICTを用いた効果的な活動例が、絵や写真を用いて掲載されている。(上P79、下P44、P128-129)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 児童自ら課題を発見し、行動することを促すための取組が、SDGsの視点で掲載されている。(下P36、P50-51、P122-123)</p> <p>イ 防災意識の向上、感染症やアレルギーへの対応など、安全・衛生面への留意点が示されている。(上P23、下P81、P125-127等)</p>

教科名 生活	種目名 生活	発行者番号 26	略称 信教	書名 せいかつ
--------	--------	----------	-------	---------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア すべて縦書き表記になっており、ワークシートや日記、作文なども国語との関連を図りながら指導できるよう工夫されている。（上 P37、下 P38 等）</p> <p>イ 伝統行事や節句にかかわる単元では、季節との関わりや人々の願いや思いに気付いたり、調べたりしている児童の姿が、切り絵や吹き出し、写真で掲載されている。（上 P80-83、P109-116、下 P80-81 等）</p> <p>ウ 校外活動で安全に気を付けて活動できるように、「！」マークで分かりやすく示されている。（上 P13、P49、P64 等）</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 動植物との継続的なかわりを大切に、様々な課題を乗り越えていく姿が、写真や挿絵、吹き出し等に表示されている。（上 P44-51、下 P28-31、P34-43 等）</p> <p>イ 活動の節々における感動体験、探究活動、表現活動を多様に示し、より深い学びにつながるよう工夫されている。（上 P36-43、下 P28-33 等）</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 自分の生活や成長が自覚できるような振り返りの場面が設定されている。（上 P122-127、下 P92-99、P100-104 等）</p> <p>イ 単元の終わりに家庭生活へとつなげる挿絵や表現があり、日々の生活に生かせるよう記載されている。（上 P25、下 P45、P73 等）</p> <p>ウ ふるさとへの愛着が深められるよう「いつものぼしょ」や「さんぼみち」などの単元が設定されている。（上 P58-63、下 P8-11 等）</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 地域に生まれて育つ子どもが、四季を通じてその場所に関わることを重視した内容構成となっている。（上 P26-31、下 P8-11 等）</p> <p>イ 入学期の児童の発達の特徴を考慮し、遊びをはじめ具体的な活動や体験を中心に総合的に展開されている。（上 P7-10、P26-31）</p> <p>ウ 図画工作、音楽、算数など、他教科との関連した活動がわかるように、実際の児童作品や写真が紹介されている。（上 P33-35、下 P29、P43 等）</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 必要な情報がより多くの人に伝わるように、カラーのイラストや写真が多く取り入れられている。</p> <p>イ 障がいのある児童や外国籍の児童と共に学ぶ姿が挿絵や写真で掲載されている。（上 P24-25、P56-57、下 P6-7 等）</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 教科書の内容と関連する植物や生き物の図鑑へアクセスできる二次元コードが設定されている。（上 P2、下 P3）</p> <p>イ 情報機器（タブレット端末、PC 等）を活用している児童の姿が挿絵で示されている。（上 P17、P81、下 P19 等）</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 「人にやさしい町」では、障がいのある人や乳幼児に配慮した誰もが暮らしやすい町にするための工夫が示されている。（下 P25）</p> <p>イ 保護者の方へのメッセージが巻頭に掲載され、生活科の学びについて、家族と共有できるよう工夫されている。（上 P1、下 P1）</p>

教科名 生活	種目名 生活	発行者番号 38	略称 光村	書名 せいかつ たんけんたい
--------	--------	----------	-------	----------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア 上下巻末に単元に即した別冊資料「ひろがるせいかつじてん」を配置し、知識や技能の習得が図られるよう工夫されている。 イ 現代の教室の姿に合わせ、主体的・対話的で深い学びの姿をイメージさせる、資料性を持った写真が掲載されている。(上 P24-25、P102-103、下 P62-63)
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 単元の導入で、児童が経験を想起し、見通しが持てるような写真や、気づきの質が高まるような言葉が掲載されている。(上 P20-21、P42-43 等) イ 「学び方のヒント」を六角形の枠で全ての小単元に設定し、考え方のヒントや活動・表現のバリエーションのヒントが提示されている。(上 P4、P40、下 P26 等) ウ 活動の中で想定される表現方法が多様に示されている。(下 P92-94)
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 絵本作家の絵が豊富に使われており、児童が興味・関心を持てるような話も紙面上に定期的に掲載されている。(上 P23、P37、下 P27 等) イ 小単元末に「思考・態度に関わる 14 の観点」を設定し、示された観点を手がかりに振り返りができるように工夫されている。(上 P5、P105、下 P17 等) ウ 「せいかつマップ」に、1 年間の気づきを書き込めるよう工夫されている。(下 P8-11)
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 上巻は、3 ページにわたるイラストで始まり、その後左はイラスト、右は写真という紙面構成で工夫されている。(上 P6-15) イ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 (10 の姿)」をイラストで示すとともに、「保護者の皆様へ」の項目でそのねらいが解説されている。(上 P16-17) ウ 小単元は見開き完結の構成で、活動が一覧できるようになっている。(上 P22-23、P46-47、下 P38-39 等) エ 3 年生の学習をイメージできる内容が掲載されている。(下 P95、P97)
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア 多様な児童がともに学ぶ姿が掲載されている。(上 P24-25、P44-45、下 P42-43 等) イ 紙面の構成を統一したり、文字や写真に影をつけて UD フォントを使用したりしている。 ウ インタビューの相手は、家庭環境の違いによらず活動に取り組めるよう、写真に配慮が見られる。(下 P90-91) エ 外国にルーツのある児童に対して、学校でよく使う日本語の音声ガイドが含まれる二次元コードが巻末に掲載されている。(6 か国語)
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア ICT の活用例が、発達段階に合わせた形で、意図的に写真で示されている。(上 P78-79、下 P70-71、P78 等) イ タブレット等を活用する際の注意点が掲載されている。(上下 P2、上別冊 P9) ウ 安全に関わる動画が二次元コードで示されている。(上 P5)
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア 地域との交流例が写真で示されている。(上 P26-27、下 P18-19 等) イ 低学年でも無理なく取り組める SDGs 教材が掲載されている。(上別冊 P19、下 P55、下別冊 P27) ウ 保護者の皆様へという記載が豊富に示され、家庭との連携に配慮されている。(上 P9、P62、P89 等)

教科名 生活	種目名 生活	発行者番号 61	略称 啓林館	書名 せいかつ
--------	--------	----------	--------	---------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア 「学びのヒント」で、学習に必要な基礎知識や学びを深めるポイント、安全上の注意など、基本的な生活習慣や知識及び技能が例示されている。（上P25、下P51、P83等） イ 「3つのずかん」を収録し、調べ方や記録の仕方の例示がたり、学研の豊富な写真の中から選び抜かれた写真が掲載されている。（上P80-83、P118-127、下P10-11等）
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 「見つける」「くらべる」「たどる」「ためす」「見通す」「くふうする」などの気付きの質を高められる多様な学習活動例が、写真、イラスト、児童の台詞などで示されている。（上P74-75、下P18-19） イ 吹き出しの中に、児童が思考するためのヒントとなる言葉が豊富に記載されている。（上P44、下P51、P88等） ウ 考える際のヒントとなる思考ツールが掲載されている。（上P87、下P4、P121等）
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 思いや願いにつながる「めぐり言葉」が表示され、「もっとこうしたい」という思いや願いの連続性が大切にされている。（上P3-13、下P3-9） イ 「できるかな できたかな？」で振り返りをし、自己評価ができるよう設定されている。（上P33、P61、下P25等） ウ 「ひろがるきもち」で発展的に学習したことを生活に生かそうとする姿が示されている。（上P13、P33、下P87等）
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 幼児教育の成果を生かすスタートカリキュラムへの手がかりが丁寧に示されている。（上P1-16） イ 下巻の巻末に「ステップブック」があり、幼児期や生活科で培った資質・能力を3年以降につなげられるよう配慮されている。 ウ 合科関連的な学習活動例が豊富に記載されている。（上P31、P60、下P69等） エ 生活科の学びのプロセスを考慮した「わくわく→いきいき→ぐんぐん」の3段階構成により、活動の流れがわかりやすく示されている。（上P3-13、下P13-25等）
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア 本文などの基本的な文字はUDフォントとし、内容が判別しやすくなるよう配色にも配慮されている。 イ 動画コンテンツに字幕のON/OFF機能が設定されている。 ウ 写真やイラストでは、性別によって服装や役割が固定化しないよう配慮され、多様な人々が関わる様子が示されている。（上P7、P11、下P7等）
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア 日々の授業で活用できる「学びウェブ」ともっと知りたい時に活用できる「デジタルたんけんブック」が二次元コードで掲載されている。（上下巻目次、上P128、下P73等） イ ICTの効果的な活用例が記載されている。（上P26、下P25）
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア 地球の問題を自分事として捉えるきっかけとするSDGsや生態系への配慮に関する記述がある。（下P57、P114-115） イ 自然災害、交通災害、人的災害、衛生面や感染症などへの対応について、基本的な知識を身に付けられるような資料が掲載されている。（上P14-15、P127、下P2等）

音樂

教科名 音楽	種目名 音楽	発行者番号 17	略称 教出	書名 小学音楽 音楽のおくりもの
--------	--------	----------	-------	------------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 音楽を形づくっている要素について、見開きの上部分に「学習のねらい」と「音楽のもと・メモ」が示され、巻末にも1年間で学ぶ要素がまとめられている。(3年P10-11、P26-27、P76等)</p> <p>イ 見開きの「学習マップ」に、各題材で付けた力が明確化された学習内容が示されている。(1-3年P2-3、4-6年P4-5)</p> <p>ウ 技能の確実な習得につなげるために、楽譜と写真やイラストを関連付け、動画でも演奏を確認できるよう示されている。(2年P24-29、3年P18-25、4年P28等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア ねらいにせまり思考を深めるための学び方が、「まなびナビ」としてマークとともに示されている。(3年P9、P17、P27等)</p> <p>イ 得た知識及び技能をもとにして学びを深めるために、全学年の題材の中に「もっとあそぼう」が設定されている。(3年P7、P47、P59等)</p> <p>ウ 表現する際の手がかりとできるよう、巻末に『「音楽のもと」まとめ』として、図式化して示されている。(1年P74、3年P76、6年P78等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 「音のスケッチ」では、生活の音に注目させる等、音楽と豊かに関わる内容が示されている。(2年P34-35、3年P28-29、4年P26-27等)</p> <p>イ 自宅でも自主的に学習が進められるよう、二次元コード「まなびリンク」が示されている。(3年P20、P29、P77等)</p> <p>ウ 既習事項を生かし、活用するために、「もっとあそぼう」を通して学びを深める活動例が示されている。(4年P49、5年P37、6年P27等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 教科等横断的な取扱いができるよう、随所に教材が配置されている。(国語1年P62-63、算数2年P70-71、外国語6年P74-75等)</p> <p>イ 音楽的な見方・考え方を働かせながら、資質・能力を育む題材、生活や社会の中の音や音楽との関わりを意識した題材が系統的に配列されている。(2年P34-35、3年P28-29、5年P48-49等)</p> <p>ウ 音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えるために、巻末に『「音楽のもと」まとめ』『楽器図かん』『音楽を表すいろいろな言葉』が、発達段階に応じた絵や表現で示されている。(3年P76-78、4年P78-80、5年P78-80等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 学習のめあての重要な言葉を大きくしたり、文中の改行位置を調整したり、配色や字体の使用などの工夫がされている。(3年P34、P36、P52等)</p> <p>イ 視覚的、聴覚的に学習内容が捉えられるように、マークや色使い、動画の活用等の工夫がされている。(3年P21、P28、P67等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 自分たちの表現を工夫するために、録音や録画で確認することを提案する吹き出しが書かれている。(5年P26-27、6年P18-19)</p> <p>イ 学習意欲を高め、学びを活性化し、確かなものにするために、「まなびリンク」が示され、学習に対応した「見る」「書く」「知る」「きく」の二次元コードがウェブ上に豊富に用意されている。(3年P29、P49、4年P33等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア ESD、SDGsの視点についてロゴが表示され、意識付けを図る教材が設定されている。(5年P65、6年P46-47)</p> <p>イ オリンピック等の写真とともに、それぞれの国の国歌を歌う意味を問う内容が、全学年の巻末に示されている。(3年P74-75、4年P76-77、5年P76-77等)</p>

教科名 音楽	種目名 音楽	発行者番号 27	略称 教芸	書名 小学生の音楽
--------	--------	----------	-------	-----------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 音楽を形づくっている要素が各ページの右下に示され、巻末にも1年間で学んだ要素が一目でわかるよう「ふりかえりのページ」が示されている。(3年P11、P15、P82-83等)</p> <p>イ 年間を通した学習の見通しを持てるように、その概要が「学習マップ」として示されている。(1・2年P2-3、3-6年P4-5)</p> <p>ウ 技能の定着のために、「そだてよう」で常時活動が例示されたり、「おもいだそう」で既習の学びと関連付けるよう示されたりしている。(3年P9、P49、P51等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 児童の思考・判断を促すことができるように、共通のアイコン「見つける」「つくる」「考える」等によって学習の手順が示されている。(3年P14、P16、P23等)</p> <p>イ 表現に対して思いや意図を持つために必要な情報が、キャラクターの吹き出しで示されている。(3年P35、4年P43、5年P51等)</p> <p>ウ 思考を深めたり広げたりしやすくなるように、指で楽譜をなぞったり、音の特徴を比べたりする活動が示されている。(4年P36、P43、P49等)</p> <p>エ 既習事項を生かして学習できるように、統一されたワークシートが学年や題材をまたいで示されている。(3年P47、6年P33、P37)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 音楽そのものについての考えを広げ、深めるきっかけとなるような鑑賞資料が掲載されている。(6年P76-81)</p> <p>イ 児童が見通しを持って活動をするために、学ぶ手順がマークで示されている。(3年P18-19、4年P20-21、5年P40-41等)</p> <p>ウ 「鍵盤ハーモニカ」と「リコーダー」の導入段階では、興味・関心が引き出せるような活動が設定されている。(1年P34-35、3年P20-21)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 他教科との関連が図られるよう、日本の古典芸能や英語の歌等が配置されている。(古典芸能3年P63、英語4年P72、国語5年P36-37等)</p> <p>イ 音楽的な見方・考え方を働かせながら資質・能力を育む題材及び生活や社会の中の音や音楽との関わりを意識した題材が、系統的に配列されている。(1年P32-33、2年P28-29、3年P58-59等)</p> <p>ウ 鑑賞、器楽(歌唱)、音楽づくりの活動を関連付けながら、1つのテーマが効果的に学べるよう、題材が構成されている。(3年P52-59、5年P26-33、6年P16-23)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 視覚的に学習内容が捉えられるように、曲の山や音を合わせる意識等、言葉で表現できないイメージがイラストで示されている。(2年P21、3年P43、5年P17等)</p> <p>イ 「見つける」「つくる」「考える」などのマークにより、個に応じた学習のサポートがなされている。(3年P14、P18-19、P34-35等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 自分たちの表現を工夫するために、録音や録画で確認することを提案する吹き出しが書かれている。(4年P63、5年P33、6年P23)</p> <p>イ 作品を尊重することの大切さを考えるきっかけとなるように、「著作権について知ろう」という特集が掲載されている。(6年P24-25)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア ESD、SDGsの視点の意識付けを図る教材が設定されている。(5年P2-3、P70-71等)</p> <p>イ 国歌が歌われる場面を知ることを通して、それぞれの国の国歌を尊重することの大切さが示されている。(4年P86-87、5年P86-87、6年P86-87等)</p> <p>ウ ふるさとのよさや魅力を考えるきっかけとなる活動が示されている。(1年P30-31、3年P40-41、6年P40-42等)</p>

図画工作

教科名 図画工作	種目名 図画工作	発行者番号 9	略称 開隆堂	書名 図画工作
----------	----------	---------	--------	---------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 各上下巻の「学びの資料」で、使用する用具の使い方が写真と言葉で示され、多種の材料と用具の正しい使い方が紹介されている。(各上下巻P58-65)</p> <p>イ 各題材において、二次元コードから製作過程等が視聴でき、必要に応じて各自で製作の手順や用具の使い方などを確認できる。(偶数ページ左下)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 児童の思考や表現を広げる手立てとして、児童の製作活動の姿の写真や、擬音や発話が示されている。(1・2年上 P18、1・2年下 P14、3・4年上 P50 等)</p> <p>イ キャラクターが本題材の学習のめあてのポイントや造形的な見方・考え方をアドバイスしている。(各上下巻P4 凡例)</p> <p>ウ すべての題材で、二次元コードから「アイデアシート」や「鑑賞シート」のコンテンツを利用することができる。(偶数ページ左下)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 「学習のめあて」で育成すべき三つの資質・能力について具体的に表記するとともに、中心となるめあての色を変えたり、線を引いたりして表記されている。(偶数ページ右上)</p> <p>イ 各上下巻の巻頭に、目次にある題材が写真とともに紹介され、1年間に学習する活動内容の流れが示されている。</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各題材の「あわせて学ぼう」では、他教科等と関連のある学習内容の具体例が示されている。(奇数ページ右下)</p> <p>イ 学年の活動のテーマが表紙の題名として提示され、その学年で使用される材料によって表現されている。(各上下巻表紙)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア UD 教科書体が採用され、文節の改行がされていたり、目立たせたい文字とそれ以外の文字に色や濃さなど違いをつけたりして示されている。</p> <p>イ 各題材に使用する用具だけでなく、使用する材料の例を挙げ、視覚的に必要な材料を理解できるよう工夫されている。(偶数ページ左上)</p> <p>ウ 当該学年で学習する漢字には、すべてルビがふってあり、作品には図版番号が付してある。</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードに立体作品を回転させて鑑賞できるコンテンツが設けられている。(1・2年下 P10-11、3・4年上 P22-23、5・6年上 P18-19 等)</p> <p>イ 「タブレットたんまつを使おう」で、「みる」「しらべる」「あつめる」「あらわす」「ほぞんする」の5項目を示し、低学年から ICT 機器の取扱いが促されている。(各上下巻 P63)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 「みんなのギャラリー」で、各地に伝わる伝統工芸や郷土の造形を、各上下巻で5点ずつ紹介し、鑑賞面だけでなく郷土愛を育む構成になっている。(各上下巻 P56-57)</p> <p>イ 各上下巻で学びを振り返るページを設け、学習内容を理解させ、幼保・小・中や将来へのつながりを意識させた構成になっている。(各上下巻 P65)</p> <p>ウ SDGs に関するコラムが設けられている。(1・2年上 P49、3・4年上 P41、5・6年上 P35 等)</p>

教科名 図画工作	種目名 図画工作	発行者番号 116	略称 日文	書名 図画工作
----------	----------	-----------	-------	---------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 「材料と用具のひきだし」では、児童自身が各上下巻で学習する基礎的な知識及び技能に関連する写真が掲載されている。(5・6年上P59-67、5・6年下P57-65等)</p> <p>イ 二次元コードから、題材で使用する材料・用具の使い方が動画コンテンツで視聴することができる。(奇数ページ右下)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 各上下巻の「図工のみかた」では、発想や構想、表現へのヒントが写真やイラストで掲載されており、造形的な視点を養う工夫がなされている。(5・6年上P46-47、5・6年下P20-21等)</p> <p>イ 各上下巻において、児童の活動の様子や作品とともに児童のつぶやきや発想が吹き出しで示され、児童の想像の広がりを促す工夫がなされている。(5・6年上P8-10等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各巻の冒頭でどんなことを学ぶのか児童に分かりやすい言葉と活動例で示されている。(1・2年上P4-6、5・6年下P5-7等)</p> <p>イ 児童が学習の見通しを持って取り組み、自己評価できる手立てとして、各題材に「学習のめあて」(偶数ページ左上)と「ふりかえり」(奇数ページ右下)の問いかけが示されている。</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 「つながる学び」では他教科と関連のある内容が示されている。(奇数ページ右下)</p> <p>イ 上巻では導入的な活動、下巻では発展的な活動になるようにし、2学年を通して系統性を意識した学習活動の構成になっている。(3・4年上P40-41、3・4年下P50-51)</p> <p>ウ 各校や地域の実態に応じて、時期や場所の活動の設定に多様性を持たせることができるよう、様々な写真が示されている。(5・6年下P42-45)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア UDゴシック体が採用され、文字と文字の間に隙間を設け、コントラストや文字の背景色など、カラーUDに配慮されている。</p> <p>イ 二次元コードから音声で詩や物語の朗読を聞くことができる。(3・4年下P37、5・6年上P33等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードから、立体作品を回転させて鑑賞できるコンテンツが設けられている。(1・2年下P9、3・4年下P11、5・6年下P17等)</p> <p>イ ICT活用を通して、情報モラルを習得できるよう配慮されている。(3・4年上P63、5・6年上P65)</p> <p>ウ 「プログラミングで」というコーナーが設けられている。(3・4年下P14-15、5・6年上P42-43、5・6年下P50-51)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 「教科書美術館」では、日本にある美術館についてふれたり、日本文化について紹介したりし、理解が深まるよう工夫されている。(1・2年下P44-45、3・4年上P24等)</p> <p>イ 幼児期及び中学校との接続を意識させ、児童の実態に応じて実践できる題材や6年間の学びをつなぐ題材が示されている。(1・2年上P2-17、5・6年上P66-67)</p> <p>ウ ごみを再利用した作品を紹介したり、使用した材料の再利用を促すポイントを掲載したりすることで、SDGsが意識できるよう工夫されている。(3・4年上P53、5・6年上P51)</p>

英語

教科名 外国語	種目名 英語	発行者番号 2	略称 東書	書名 NEW HORIZON Elementary English Course
---------	--------	---------	-------	--

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア Unit のはじめに単元のゴールを「Our Goal」として映像で確認することで、児童が見通しを持ち、スモールステップで知識及び技能の習得ができるよう工夫されている。(5年P50、P62、6年P72等)</p> <p>イ ページの下方に帯活動の例が示され、文字指導や既習事項をスパイラルに学習できるよう構成されている。(5・6年P9、P11、P13等)</p> <p>ウ 別冊絵辞書には、絵とともに単語や表現が4線の上に掲載されており、既習事項を確認できるよう工夫されている。(5・6年P8-35)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 児童が自発的に言語活動を行うことができるように、目的や場面、状況などが適切に設定されている。(5年P12、P22、6年P10等)</p> <p>イ 適切な言語材料を活用し、情報を整理するとともに、自分の考えなどを形成する活動が設定されている。(5年P12-15、P22-25、6年P10-15等)</p> <p>ウ 「Check Your Steps」では、Your Goalに向かって、思考ツールを使いながら内容を整理し、発表する活動が設定されている。(5年P38-39、P72-73、6年P36-37)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 単元冒頭に3観点に対応した目標を明示するとともに、各ステップでそれぞれについて振り返りや自己評価ができる構成になっている。(5年P8-9、P11、P13等)</p> <p>イ 別冊絵辞書には、2年間の学びを見通すことができるよう「CAN-DOの樹」を示し、到達点に向かって学習を進められるよう工夫されている。(P42-43)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 全体の構成として、学習内容への慣れ親しみから、知識及び技能の習得、思考力、判断力、表現力等を働かせる活動へと段階が踏まれている。(5年P8-15、6年P6-13)</p> <p>イ 日本と世界のつながりや生き物のこと等、他教科と関連した活動が設定され、教科名が各単元のタイトル横に示されている。(5年P40、6年P48、P60等)</p> <p>ウ 単元の脚注や終盤には、各学級の実態に応じて帯活動でも扱える活動が設定されている。(5年P35、P45、6年P38等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア UDフォントやなぞり書き用の特別なフォントが使用されている。(5年P26-27、P42、6年P39等)</p> <p>イ 左利きの児童への対応として、4線のモデルとなる文字が右側に配置されている。(5年P16-17、P26-27)</p> <p>ウ 多様な児童への配慮のために、全体を通して可能な限り同じような紙面構成がなされている。</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 画面を通じて対話練習ができる動画、紙面の単語数を追加して作成された「Digital Dictionary」、日本や世界の紹介の際に活用できる「Digital Map」が掲載されている。(5・6年表紙裏ページ)</p> <p>イ 書き込み可能なデジタルワークシートや思考ツールが掲載されている。(5年P10、P39、6年P7等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア SDGsを意識した題材が取り扱われている。(5年P58、6年P12、P60-67等)</p> <p>イ 津波からの避難経路に関する標識を扱うなど、英語を通じて防災意識を高められるよう工夫されている。(5年P58)</p>

教科名 外国語	種目名 英語	発行者番号 9	略称 開隆堂	書名 Junior Sunshine
---------	--------	---------	--------	--------------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 身に付けた知識及び技能を用い、「Let's try」等で実際に英語を使って互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動が盛り込まれている。(5年P26、P28、6年P26等)</p> <p>イ 各単元の「Activity2」で、反応表現を紹介するコーナー「Let's say it.」を設定し、伝え合う力を育むことができるよう工夫されている。(5・6年P29、P39、P55等)</p> <p>ウ 別冊絵辞書では、カテゴリ別に語句をまとめ、絵を手がかりに児童が言葉をすぐ検索できるよう工夫されている。(P2-29)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 相手、目的意識を持ってコミュニケーション活動を行うことができるよう、場面設定を工夫した言語活動が毎時間設定されている。(5・6年P15-17等)</p> <p>イ 各単元に相手の話を聞いて褒める、質問する、励ます等の表現例を紹介するコーナーが配置されている。(5・6年P19、P29、P39等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 「Let's Check」では、年3回ペーパーテストとパフォーマンステストで、児童が自分の成長や課題を確かめることができる構成になっている。(5・6年P44-47、P80-83、P106-109等)</p> <p>イ 達成状況を把握できるよう巻末に「CAN-DO チェック」が添付されており、単元ごとの目標がゴールとして掲載されている。(5・6年P15、P25、P128)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 単元のはじめの見開きに単元のゴールを示すとともに、見通しを持って学習に取り組めるよう、4段階の単元チャートが示されている。(5・6年P15、P25、P35等)</p> <p>イ 単元のはじめに関連する教科がアイコンで示され、教科等横断的な学習ができるよう工夫されている。(5・6年P15、P25、P35等)</p> <p>ウ 年間3回のパフォーマンステストができるよう「Let's check」を設け、計画的に評価できるよう設定されている。(5・6年P44-47、P80-83、P106-109等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア UDフォントが使用されている。</p> <p>イ 「Our World」では、世界の様々な文化情報が示され、異文化理解を促すよう工夫されている。(5・6年P48-49、P84-85、P110-111)</p> <p>ウ 日本語も英語も文字を大きく配置し、情報を読み取りやすいよう配慮されている。</p> <p>エ 多様な児童への配慮のために、全体を通して同じような紙面構成がなされている。</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 海外の文化や生活習慣、文字の音や特徴を紹介する動画を視聴できるよう二次元コードが掲載されている。(5・6年P23、P48-49、P110-111等)</p> <p>イ コミュニケーションツールとしてタブレット等を使用しているイラストを掲載し、例が示されている。(5年P17、P21、6年P41等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 世界の子どもたちの生活の紹介とともに、対応するSDGsの目標と解説、日本の取組事例が掲載されている。(6年P23、P33、P43等)</p> <p>イ 地域や日本のよさ、日本各地の名所や名産を紹介するなど、ふるさとキャリア教育を意識した単元やページが設定されている。(5年P33、P86-93、6年P24-31等)</p>

教科名 外国語	種目名 英語	発行者番号 15	略称 三省堂	書名 CROWN Jr.
---------	--------	----------	--------	--------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 各単元の授業が音声から文字へ、練習活動からコミュニケーションへと配列されている。(5年P40-49、P52-61、6年P40-51等)</p> <p>イ 「STEP」の中で語句や表現を繰り返し学ぶことで、基礎的・基本的な知識が習得できるよう配慮されている。(5年P24-31、P42-61、6年P22-31等)</p> <p>ウ 別冊絵辞書に語彙がカテゴリ別に分類されており、教科書にも参照ページを掲載して検索しやすいよう配慮されている。(5年P12、6年P27、別冊絵辞書P6等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 「JUMP」には学習した内容を駆使して、目的や場面、状況などに応じて、思考力、判断力、表現力等を働かせて深い学びにつながる課題が設定されている。(5・6年P34-35、P74-75、P104-105等)</p> <p>イ 相槌や発表で気をつけたいことなど、コミュニケーションにおける工夫について扱い、児童が相手意識をもって活動に取り組めるよう配慮されている。(5・6年P45、P47、P57等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 単元はHOP、STEP、JUMPの三段階で構成され、自らのゴールを設定し見直しを持って学習を進めたり振り返ったりすることができるよう工夫されている。(5年P40-75、P80-105、6年P40-75等)</p> <p>イ 別冊絵辞書には、2年間のCAN-DOリストが用意されており、目標や評価基準が設定されている。(P44-45)</p> <p>ウ 外国の生活や文化を取り上げ、外国語の背景について理解を深めることができるよう配慮されている。(6年P20-21、P62-63、P92-93等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各学年の冒頭や各Unitの冒頭で、言語活動を通して既習事項を確認する場面が設けられている。(5・6年P6-9、P11、P41等)</p> <p>イ 社会科や理科等、他教科と関連する題材が扱われており、教科名が活動横に示されている。(5年P92-97、6年P57、P59等)</p> <p>ウ 各Partは10分から15分で構成され、学級の実態に応じて短時間学習でも計画が立てられるよう設定されている。</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア UDフォントが使用されている。</p> <p>イ 児童と同学年の人種の異なるメインキャラクターの生活を扱うことで、異文化や人権等に配慮されている。(5・6年P3、5年P12-13、6年P42-43等)</p> <p>ウ 文字を認識しやすいように、語句の下には白地が敷かれている。(5年P12-13、P64-65、6年P22-23等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードを利用して、児童が個別に音声や画像、映像などの情報にアクセスすることができるよう工夫されている。</p> <p>イ プログラミング教育との関連で指導できる活動が配置されている。(5年P106-107)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア SDGsへの理解を深めることができる題材が掲載されている。(5年P80、6年P10、P62-63等)</p> <p>イ 世界のいろいろな国に住む人々の生活や文化に根差した、さまざまな仕事について紹介されている。(6年P92-93)</p> <p>ウ ふるさとキャリア教育を意識した単元が設定されている。(5年P80-81、6年P28-31)</p>

教科名 外国語	種目名 英語	発行者番号 17	略称 教出	書名 ONE WORLD Smiles
---------	--------	----------	-------	---------------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 文構造や基本的な表現の定着を図るコミュニケーション活動が、段階を踏んで設定されている。(5年P10-17、P20-25、6年P10-15等)</p> <p>イ 「Let's Sing」や「Let's Say it together」でターゲット表現を繰り返し練習できるよう配慮されている。(5年P12-15、P62-65、6年P10-13等)</p> <p>ウ 導入単元で扱った語彙をページ下に1つずつ配置するとともに巻末にまとめ、アルファベットの音に慣れ親しむことができる構成になっている。(5年P14、P115、6年P12等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア コミュニケーションを通して言語の意味や働きを体験的に理解できるよう、児童の身近な暮らしに関わる場面や特有の表現が使われる場面が設定されている。(5年P22-23、P32-36、6年P12-17等)</p> <p>イ 「Final Activity」では慣れ親しんだ語彙や表現をもとに、コミュニケーションの目的を意識して活動できるよう工夫されている。(5年P18、P26、6年P16等)</p> <p>ウ 文法用語を使わずに、文構造への気付きを促す活動ができるよう工夫されている。(5・6年P29、P39、P51等)</p> <p>エ 物語を読むだけでなく、読んで演じることで表現力を育成する活動が設定されている。(6年P40)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 巻頭に教科書への導入ページを設け、児童が1年間の学びの見通しを持って活動できるよう工夫されている。(5・6年P1)</p> <p>イ 単元冒頭で目標を確認させることにより、ゴールの姿をイメージしつつ授業に臨み、最後に自己評価ができるよう工夫されている。(5年P31、P43-51、6年P21-29等)</p> <p>ウ グループやクラス全体で成果物を作る協働的な学びにつながる活動が設定されている。(5年P58-59、P104-105、6年P26-27等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各単元の導入と最終の発信活動をモデル映像で確認することで、単元の見通しを持って学習できるよう配慮されている。(5年P12、P18、6年P10等)</p> <p>イ 国語や社会科、ふるさとキャリア教育等、教科等横断的な学習ができるよう工夫されている。(5年P24、P66-69、6年P66-69等)</p> <p>ウ 10分から15分程度でできる活動が設定され、短時間学習で扱えるよう工夫されている。(5年P12、P14、6年P10等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア UDフォントが使用されている。</p> <p>イ 「World of Smiles」では、多様性を意識できるよう工夫されている。(5年P17、6年P24、P78-79)</p> <p>ウ 余白の多い紙面構成や色の組み合わせや濃淡の工夫により、色覚の個人差に配慮した構成になっている。</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードを通じ、ウェブサイト「まなびリンク」から音声や動画、写真、ワークシートなどが活用できるよう設定されている。</p> <p>イ プログラミング教育につながるよう、アルファベットの音を聞いてキーボードをタッチする活動が設定されている。(5年P17)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア SDGsを意識した学びが充実するよう題材が設定されている。(5年P41、P87、6年P98等)</p> <p>イ 防災・安全な行動ができるよう、ルールや注意喚起の表記が取り扱われている。(5年P40)</p>

教科名 外国語	種目名 英語	発行者番号 38	略称 光村	書名 Here We Go!
---------	--------	----------	-------	----------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 基礎的な知識及び技能を習得できるよう各単元が四段階で構成されている。(5年P36-43、P60-65、6年P44-51等)</p> <p>イ 各単元に「Small Talk」を設定し既習事項の活用と定着を図るとともに、相槌について扱い、対話の継続に慣れるよう工夫されている。(5年P41、P55、6年P47等)</p> <p>ウ 各単元の「Phrase Hunt」では、既習表現を活用できるようクラスで情報共有する活動が設定されている。(5年P23、P33、6年P21等)</p> <p>エ 取り外し式の別冊絵辞書が付属されている。</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 「まとめ」の言語活動が各学年に3箇所ずつ設定され、学んできた表現を「世界の友達」で受容し、発信できるよう構成されている。(5年P46-47、P76-77、6年P40-41等)</p> <p>イ 言語活動が様々な場面に設けてあり、前時に扱った話題に既習表現を加えてさらに詳しく尋ねたりすることで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。(5年P19、P21、6年P17等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 「できるようになること」の隣に「英語の学び方」欄があり、外国語学習に欠かせない姿勢を記すとともに、どう学びたいかを考え書き加えることができる欄が掲載されている。(5・6年P8-9)</p> <p>イ 単元的话题を自分に結びつけて考えられるように、「About You」という問いを設け、主体的な学習を促すよう配慮されている。(5年P17、P27、6年P15等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各単元で5領域の中で特に重点的に指導する領域を設定し、各学年の冒頭に示されている。(5・6年P8、P9)</p> <p>イ 他教科と関連した内容の部分にアイコンを提示し、教科等横断的な学習ができるよう工夫されている。(5年P11、6年P11、P30等)</p> <p>ウ 単元のゴールとなる活動以外は、10分程度の活動が設定され、短時間学習で扱えるようになっている。</p> <p>エ 文を書く活動が5年Unit4から設定されている。(5年P53)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 独自のUDフォントが使用されている。</p> <p>イ 世界12か国の実際の小学生が登場し、多様性を意識できるよう工夫されている。(5年P22、P38、6年P20等)</p> <p>ウ 5領域の学習をアイコンで示すとともに、図版の周りを線で囲むなどして周囲と区別できるよう工夫されている。(5・6年P4-7、5年P16-23、6年P22-31等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードを掲載し、音声や映像、単元末の言語活動のモデル映像などが視聴できるよう工夫されている。</p> <p>イ ICT機器の積極的な活用や、デジタル教科書を使った授業の促進のための授業例が紹介されている。(5年P49、P89、6年P61等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア SDGsについて地球規模で解決すべき課題であることに気付けるよう、「Let's Watch and Think」や巻末の「英語の物語」に目標が掲載されている。(5年P42、P102-103、6年P58等)</p> <p>イ リスニングの活動を通して防災への意識を高められるよう、各学年に教材が設定されている。(5年P67、6年P31)</p>

教科名 外国語	種目名 英語	発行者番号 61	略称 啓林館	書名 Blue Sky elementary
---------	--------	----------	--------	------------------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	① 「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 導入部分が映像から始まるなど、児童が抵抗なく英語に接することができるよう配慮されているとともに、インプット、ミニアウトプットを繰り返し、語句や表現に慣れ親しむことができる構成になっている。(5年P12-21、P32-40、6年P24-34等)</p> <p>イ 基礎的な語句や表現を明示し、「Jingle」等で語句や表現の定着が図られるよう配慮されている。(5年P34、P48、6年P28等)</p> <p>ウ 文字と音の関係を学習した上で、段階的に文字学習に取り組めるよう配慮されている。(5年P41、P55、6年P35)</p>
	② 「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 「Activity」では場面や状況に応じて、自分が言いたいことを選んで話す活動ができるよう工夫されている。(5年P35、P37、6年P29)</p> <p>イ 英語の意味や使い方を推測したりコミュニケーションに大切なことを考えたりする活動が設定されている。(5年P38、P52、6年P32)</p> <p>ウ 各学期末に技能を統合する活動を設定し、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう配慮されている。(5年P42-43、P76-77、6年P46-47等)</p>
	③ 「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 異文化情報を豊富に扱い、外国の文化や生活を理解し尊重する心を育てられるよう配慮されている。(5年P38-40、P44-45、6年P32-34等)</p> <p>イ 児童が見通しを持って取り組めるように、単元全体のめあてと各ステップのめあてが明示されている。(5年P23、P33、6年P26等)</p> <p>ウ 単元末には、学んだことを今後に生かすことを想起させる問いを入れるよう工夫されている。(5年P40、P54、6年P34)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各学年の「Pre Unit」や各Unitはじめの見開きページで、既習事項を繰り返し使用する活動が設定されている。(5年P8-11、P12-13、6年P6-9等)</p> <p>イ 国語や算数、社会科等、他教科と連携し、教科等横断的な学習ができるよう工夫されている。(5年P68-69、P88-98、6年P91等)</p> <p>ウ 各ステップは見開き2時間の配当時間で、学習進度に応じて追加の活動ができるよう工夫されている。</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア UDフォントが使用されている。</p> <p>イ 各単元末には、「Did you know?」で異文化や日本とのつながりなどを紹介し、異文化理解を意識させられるよう工夫されている。(5年P40、P44-45、6年P22)</p> <p>ウ 色覚特性や障がいのある児童が判別しにくい配色を避けたり、シンプルなイラストを扱ったりする工夫がなされている。</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードを掲載し、音声や動画等、個別学習ができるよう工夫されている。</p> <p>イ タブレット等をコミュニケーションツールとして用いているイラストや写真を掲載し、ICT機器の効果的な活用例が示されている。(5年P33、P97、6年P28等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 世界のSDGsに関する取組をクイズ形式で紹介し、児童の関心を高められるよう工夫されている。(5年P102-103、6年P48-49)</p> <p>イ ピクトグラムや海外の標識を扱い、防災の備えについて考える場面が設けられている。(6年P44)</p>

家庭

教科名 家庭	種目名 家庭	発行者番号 2	略称 東書	書名 新編 新しい家庭
--------	--------	---------	-------	-------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を自己評価するため、調理・製作実習後に「できたかな?」が設定されている。(P17、P23等)</p> <p>イ 習得すべき知識及び技能が「いつも確かめよう」に示され、二次元コードで動画等も見られる。(P10-11、P16-17、P136-145等)</p> <p>ウ こまめに学習を振り返り、学習内容が定着するように、すべての小題材のはじめに学習の「めあて」、最後に「ふり返ろう」が設けられている。(P13、P14-18、P19等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 課題解決的な学習過程となるよう、各大題材の中に複数の「活動」が設定され、最後の「活動」には学びを総合的に生活に生かす「深めよう」が配置されている。(P13-19、P28-34、P37-42等)</p> <p>イ 導入時に、話し合いに使用できるデジタル思考ツール「トライシート」が設けられている。(P13、P20、P28等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 自己評価し、自己の成長を自覚するために、巻頭に「成長の記録」、学年末に「まとめ」が設定されている。(P6-7、P79、P135)</p> <p>イ 自分なりの課題を持って学習に取り組めるように、キャラクターにより生活の課題や学習のポイントが示されている。(P12、P20、P28等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 家庭科の「見方・考え方」の視点が、「家庭科の窓」として巻頭で大題材のタイトル横に示されている。(P3、P12、P20等)</p> <p>イ 15の大題材で構成され、衣食住が複合的に扱われている。(P1-2)</p> <p>ウ 中学校家庭分野、他教科と関連する内容にマークをつけ、随所で関連付けて学習できるように配慮されている。(P33、P39、P45等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 調理・製作実習ページでは、左利き用の基礎技能動画が各題材内及び巻末に8種類収録されている。(P11、P22-23、P143等)</p> <p>イ 巻末に実際に手をのせて真似しながら包丁や針の使い方を練習できる実物大写真がある。(P137-143)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 知識及び技能の定着、思考力の育成のため、思考ツール、実習の基礎技能、実習ノート、まとめワークシート、図鑑などのデジタルコンテンツが多数用意されている。(P13、P16、P19等)</p> <p>イ インターネットが有効に活用できるように、オンライン交流や買い物時の注意点等が記載されている。(P39、P83、P131等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 消費生活について学ぶことで、持続可能な社会の構築につながる大題材が設定されている。(P36-43等)</p> <p>イ 防災について「日々の備え」で示し、災害への備えも意識し、ローリングストック(缶詰など)を利用した調理等が取り上げられている。(P34、P56、P119等)</p> <p>ウ 日本の伝統的な生活に関わる資料や各界のプロフェッショナルのインタビュー記事等を掲載し、ユネスコ無形文化遺産に登録された和食等、グローバルな視点から日本の生活文化のよさが紹介されている。(P27、P42、P53等)</p>

教科名 家庭	種目名 家庭	発行者番号 9	略称 開隆堂	書名 わたしたちの家庭科
--------	--------	---------	--------	--------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア 具体的な実習手順に沿って自己評価するために、調理・製作実習後に「できたかな」が設定されている。(P15、P23、P25等) イ 習得すべき知識及び技能が写真やイラストで提示されており、二次元コードで動画等も見られる。(P11、P12-15、P22-23等)
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 課題解決的な学習過程になるよう小課題が示され、言語活動の充実のため、発表や意見交流場面が設定されている。(P33、P69、P102等) イ 児童が見付けた課題等を書き込めるスペースがあり、「生かす・深める書きこみカード」はダウンロードできる。(P9、P10、P20等)
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 児童が課題意識を持って学習するために、キャラクターが学習のポイントを示している。(P16、P17、P22等) イ 調理・製作場面では、児童一人一人に応じた内容の設定ができるように難易度が星の数で表されている。(P44、P114、P120等) ウ 児童が大題材の見通しをもつために、最初に「学習のめあて」、最後に「学習をふり返ろう」「生活に生かそう」が示され、生活の中での実践につなげるように工夫されている。(P10とP19、P20とP27等)
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 家庭科における「生活の見方・考え方」の視点を巻頭で示し、題材の学習内容ごとに案内役のキャラクターを使って提示している。(P3、P29、P31等) イ 20の大題材で構成されている。(P4-5) ウ 中学校技術・家庭「家庭分野」とのつながりは巻末に、他教科との関連はマークを付して、随所に示されている。(P11、P12-13、P136-137等)
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア 左利き用の基礎技能動画は、サイト内の「学びの資料」の中に一括して5種類示されており、巻末にも写真で示されている。(P148、P151) イ 調理・製作の実習手順の流れをつかむことができるよう、写真やイラストが横流れに提示されている。(P14-15、P22-23、P50-51等)
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア 動画や学習カードなど学習に有用なコンテンツが揃っており、調理手順の並べかえクイズや振り返り10問〇×クイズなど、さわって動かす動画コンテンツが設けられている。(P29等) イ 情報収集や意見交流、発表場面等でタブレットを有効に活用できるように例示されている。(P29、P33、P69等)
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア 2学年の境に「できることから始めて、持続可能な生活をつくる」で学習を振り返り、最終題材として「持続可能な社会のために」が扱われている。(P78-79、P132-135) イ 防災について「防災」マークで示し、「家庭や地域の安全・防災」といった特設ページが設けられている。(P21、P33、P144-145等) ウ 生活の中で受け継がれてきた伝統文化に関わる事例が、衣食住を中心に掲載されている。(P49、P57、P125(鳥取県の事例)等) エ 家庭科に関係する仕事や取組を行う人、持続可能な社会につながる取組を行う人等を多数紹介し、キャリア教育につながるよう工夫されている。(P18、P46、P138-139等)

保健

教科名 体育	種目名 保健	発行者番号 2	略称 東書	書名 新編 新しい保健
--------	--------	---------	-------	-------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法 (活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア 章末にデジタルコンテンツ「学習を振り返ろう」(ワークシート)が掲載されており、学習内容が整理できるように工夫されている。(3・4年P12、P16、5・6年P12等) イ 身に付けておくと役立つスキルを示す「スキルマーク」が各所に掲載されている。(3・4年P12、P24、5・6年P12等)
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 思考したことを書くための記入スペースが随所に配置されている。(3・4年P9、P11、5・6年P6等) イ 学習の進め方が「①気づく・見つける」「②調べる・解決する」「③深める・伝える」「④まとめる・生かす」「資料」の流れで構成されている。
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 「①気づく・見つける」の後で「学習の課題」を確認することで「学習の課題」をより自分事として捉えられるように構成されている。(3・4年P7-8、P13-14、5・6年P5-6等) イ 「④まとめる・生かす」では、学習をふまえて自分の生活を見直すことができるよう工夫されている。(3・4年P12、P16、5・6年P8等)
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 保健の内容について、系統性のある指導ができるようにマークを随所に設け、他学年の内容や他教科との関連が図られるようになっている。(3・4年P15、P19、5・6年P6等) イ 運動に関する内容が取り上げられ、運動領域との関連が示されている。(3・4年P43、5・6年P16) ウ 学校医や薬剤師など、学校保健等の関係者が適宜登場し、専門的な立場からの解説が掲載されている。(3・4年P23、P25、5・6年P22等)
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア 登場人物の人数や役割には、性別による極端な偏りがないように配慮されている。(3・4年表紙、5・6年表紙、5・6年P76等) イ 成長には個人差があることに触れ、多様性や個人の価値が尊重されている。(3・4年P30、P37、P38等) ウ 文節改行を基本とし、文章を読み取りやすくなるように配慮されている。
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア 動画やシミュレーションの閲覧、思考ツールの使用ができる二次元コードが随所に掲載されている。(3・4年P10、P19、5・6年P46等) イ 「コンピュータを学習に生かそう」で、自立した端末の使い手になれるように、情報モラルを含めた注意点が確認できる工夫がされている。(3・4年P4、5・6年P2)
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア 各章のとびらに学習内容と関係するSDGsの目標が記載されている。(3・4年P6、P26、5・6年P4等) イ 基本的な感染症予防についての注意喚起が掲載され、二次元コードで手洗いの動画が見られるなど配慮されている。(3・4年P3、P20、5・6年P1等)

教科名 体育	種目名 保健	発行者番号 4	略称 大日本	書名 新版 たのしい保健
--------	--------	---------	--------	--------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 振り返りながら知識及び技能の定着ができるように、各章末に「まとめ」のページが設定されている。(3・4年P23、P41、5・6年P19等)</p> <p>イ 重要語句は「ワード」として詳しく説明されている。(3・4年P12、5・6年P42、P43等)</p> <p>ウ 章ごとに知識が深められるように「もっと知りたい」が掲載されている。(3・4年P20-22、5・6年P16-18等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 表現力を育むために、自分の言葉でまとめ、記入するスペースが豊富に設けられている。(3・4年P10、5・6年P10、P11等)</p> <p>イ 全体を通して「つかもう」→「話し合おう」「考えよう」「調べよう」→「活かそう」という課題解決学習の流れになっている。(3・4年P10-11、P30-31、5・6年P10-11等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 主体的に学習に取り組む態度を育むために、導入で身近な題材を取り上げている。(3・4年P10、5・6年P10、P12等)</p> <p>イ 2ページの折りこみを使用し、毎時間の展開部分を隠すことで児童の興味関心を高める工夫がなされている。(3・4年P10、P12、5・6年P10等)</p> <p>ウ 学習したことを生活にどのように生かすのか考えさせるために、毎時間の最後に「活かそう」が設定されている。(3・4年P11、5・6年P11、P13等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 全体を通して1時間の授業が見開き2ページで構成されている。</p> <p>イ 学習内容と関連する他教科、他学年の内容が示されている。(3・4年P10、5・6年P10、P12等)</p> <p>ウ 「単元のとびら」のページに、単元の見通しを持つための流れが示されている。(3・4年P8、5・6年P8、P20等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 全体を通してUDフォントを使用し、配色などに工夫がなされている。</p> <p>イ 異性やさまざまな性など、性の多様性について、日常生活の出来事と関連させて説明されている。(3・4年P34、P39、5・6年P17)</p> <p>ウ SDGsに関連することはマークで示され、巻末資料で特集ページが掲載されている。(3・4年P43、5・6年P17、P66-67等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア デジタルコンテンツやまとめの問題が閲覧できるよう、各所に二次元コードが掲載されている。(3・4年P9、P10、5・6年P10等)</p> <p>イ パソコン、スマートフォン等の正しい使い方、上手な付き合い方が紹介されている。(3・4年P44、5・6年P68)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア オリンピック・パラリンピック教育、新型コロナウイルス感染症等感染症の予防について取り上げている。(3・4年P6、5・6年P44-45、P48-49)</p> <p>イ 自然災害への備え、災害時の安全な行動など、防災教育について取り扱われている。(5・6年P6、P34-35)</p>

教科名 体育	種目名 保健	発行者番号 50	略称 大修館	書名 新 小学校保健
--------	--------	----------	--------	------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 毎時間の学習課題を「きょうの課題」として示し、知識及び技能の確実な習得が図られるよう配慮されている。(3・4年P10、P14、5・6年P8等)</p> <p>イ 学習上、重要な語句などについては「解説」として明示し、学習内容の確実な習得が図られるよう配慮されている。(3・4年P13、P18、5・6年P8等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 思考・判断したことを表現できるスペースが設けられている。(3・4年P10-15、P26-27、5・6年P12等)</p> <p>イ どの単元のはじめにも、「課題をつかもう」で、身近な生活を振り返り、健康に関する課題を発見できるように設定されている。(3・4年P10、P14、5・6年P8等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各単元の最後に、学習したことを自分の生活に生かせるよう、「まとめ 生かそう伝えよう」が設定されている。(3・4年P13、P15、5・6年P11等)</p> <p>イ 各章末に、自分の生活と学んだことを照らし合わせ、特に生かしたいことをまとめる「学習をふり返ってみよう」が設定されている。(3・4年P24、P44、5・6年P22等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 「課題をつかもう」→「話し合おう」「調べよう」「考えよう」「やってみよう」→「まとめ」という学習の流れで構成されている。(3・4年P10-13、P14-15、5・6年P38-39等)</p> <p>イ 学習内容と関連する他教科、他学年の内容が示されている。(3・4年P19、P21、5・6年P33等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 写真やイラストの登場人物は、男女の役割を固定したり、差別や偏見につながったりすることがないように配慮されている。(3・4年P34、P37、5・6年P10等)</p> <p>イ UDフォントが採用され、文節改行によって文章の内容を理解する前段階での不要なつまづきを防ぐよう、配慮されている。</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 単元のまとめとして「ほけんクイズにトライ！」が掲載されており、二次元コードでクイズ形式のまとめができる構成になっている。(3・4年P13、P15、5・6年P11等)</p> <p>イ 実験など、学習の助けとなる動画などを視聴できる二次元コードが掲載されている。(3・4年P10、P15、5・6年P17等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア スマートフォンの活用時のルールや感染症対策など、今日的な課題から考えさせる内容が「資料 もっと学びを広げよう！深めよう！」に掲載されている。(3・4年P16-17、P35-36、5・6年P54-55等)</p> <p>イ 各章のはじめに、著名人との対話形式で、健康の大切さや健康についての考え方等が紹介されている。(3・4年P9、P25、5・6年P7等)</p> <p>ウ 自然災害から身を守り、犯罪被害を防ぐための行動の仕方や、自然環境の悪化や健康・安全などSDGsに関わる内容が取り上げられている。(3・4年P45-46、5・6年P36-37、P73)</p>

教科名 体育	種目名 保健	発行者番号 207	略称 文教社	書名 新わたしたちの保健
--------	--------	-----------	--------	--------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 「ここが大事」を適宜設け、理解させたい内容が明確に示されている。(3・4年P12、P23、5・6年P36等)</p> <p>イ 毎時間、「学習のめあて」及び「本時のMenu」が示されており、見通しを持って学習できるよう工夫されている。(3・4年P4、P8、5・6年P4等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 毎時間、Mission①・②あるいは①～③で構成され、思考しやすくなるよう工夫されている。(3・4年P4-5、P22-24、5・6年P16-17等)</p> <p>イ 単元末に「もっと考えよう課」を設け、学習に関連したコメントや記事を紹介し、思考が深まるよう工夫されている。(3・4年P17、P36、5・6年P18等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 毎時間の最終Missionを「もう一步先の自分へ」とし、自分の生活の中で、より実践につなげられるように工夫されている。(3・4年P24、P28、5・6年P41等)</p> <p>イ 単元のまとめである「わたしの〇〇宣言」の内容が、交流によって考えが広げられるよう設定されている。(3・4年P19、P37、5・6年P19等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各単元のはじめには、見開き2ページで興味を持って主体的に学ぶことができるよう単元の見通しが示されている。(3・4年P2-3、P20-21、5・6年P2-3等)</p> <p>イ 3～5年は4時間、6年は8時間で構成されていることがわかるよう、各時間のタイトルが示されている。(3・4年P2-3、5・6年P20-21、P46-47等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 男女の児童が会話をしながら学習を進める設定となっており、協力し合うことの大切さが意識できるよう構成されている。(3・4年P5、P10、5・6年P12等)</p> <p>イ 吹き出しやイラスト、注目させるマーク等を多く用いて、理解しやすくなるよう工夫されている。(3・4年P4-5、5・6年P12-13等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア スポーツ選手のコメントや安全に関する注意点等の動画を視聴することができる二次元コードが掲載されている。(3・4年P12、5・6年P30、P55等)</p> <p>イ 二次元コードを読み取ることで自社制作資料だけでなく、関連する内容の外部サイトを閲覧することができる。(5・6年P11、P31、P39等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 自転車の安全な乗り方や熱中症対策、薬物乱用防止等について掲載されている。(5・6年P30-31、P44、P76-77等)</p> <p>イ 発展的な学習内容について、SDGsのロゴやアイコンを示しながら紹介している。(3・4年P31、5・6年P18、P56等)</p>

教科名 体育	種目名 保健	発行者番号 208	略称 光文	書名 小学保健
--------	--------	-----------	-------	---------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 全体を通して特に大事な用語や文は太字で目立たせ、知識の定着が図られるようになっている。</p> <p>イ 各単元のまとめとなる文頭に、基礎的・基本的事項には☆マークを付けて強調されている。(3・4年P10、P11、5・6年P10等)</p> <p>ウ 「やってみよう」のコーナーを設け、実際の活動を通して技能が習得できるよう工夫されている。(5・6年P15、P33)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 各単元のまとめに、「学んだことを生かそう」として自分の生活に当てはめて考える活動が設定されている。(3・4年P11、P13、5・6年P11等)</p> <p>イ 伝え合う活動を通して、児童が思考・判断・表現したことを記入するスペースが多く設けられている。(3・4年P10、P26、5・6年P23等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 学校医や保健室の先生、警察官など学習内容に関わりのある仕事をする人の話が紹介されている。(3・4年P18、P26、5・6年P23等)</p> <p>イ 各単元冒頭の「見つけよう」で、自分の生活を振り返った後、学習課題を確認することで、見通しを持って自分事として考えることができるよう構成されている。(3・4年P8-9、P12、5・6年P8)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 他学年、他教科、他校種との関連が示され、教科等横断的な学習が行えるよう工夫されている。(3・4年P17、5・6年P10、P28等)</p> <p>イ 「さらに広げよう深めよう」のコーナーが単元の途中に設定され、発展的な内容を紹介することで、児童の興味・関心に応じてより深く学べるよう構成されている。(3・4年P14-15、5・6年P16-17、P28-29等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 全体を通して、UDフォントやカラーUDが用いられており、文や資料が混同しないよう、間に余白が設けられている。</p> <p>イ 成長には個人差があることや性の多様性について、また、服装や髪髪などが固定的なイメージにならないように配慮されている。(3・4年P26-27、P33、5・6年表紙絵等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 理解を促し、学習効果や効率を向上する目的から、全体を通してデジタルコンテンツが活用できる二次元コードが掲載されている。(3・4年P8、P14、5・6年P8等)</p> <p>イ 情報活用だけでなく、情報モラルに対応した活動や資料、デジタルコンテンツも掲載されている。(3・4年P15、5・6年P34、P61)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 冒頭ページに、キャリア教育やオリンピック・パラリンピック教育の観点から、様々な分野の方の言葉が掲載されている。(裏表紙)</p> <p>イ インターネット、感染症等に関する話題が掲載されている。(3・4年P15、5・6年P34、P45-P47等)</p> <p>ウ 自然災害に対する備えやとるべき行動について、また、SDGsと保健の学習をつなげた問いなど、自分に何ができるかを考えさせる工夫がされている。(3・4年P41、5・6年P36-38、P65等)</p>

教科名 体育	種目名 保健	発行者番号 224	略称 学研	書名 新・みんなの保健
--------	--------	-----------	-------	-------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 「心の健康」「けがの防止」の単元では、技能が習得できるよう、イラストだけでなく動画が視聴できるよう工夫されている(5・6年P20、P41-42)</p> <p>イ 生活や行動の根拠を科学的に認識できるように、「かがくの目」のコーナーが設けられている。(3・4年P22、P43、5・6年P55等)</p> <p>ウ 実習などの実践的な学習が随所に取り入れられている。(3・4年P19、5・6年P20、P42等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア グラフや写真等から感じたことや思ったことを書かせた後に、話し合い活動を行うように授業展開が構成されている。</p> <p>イ 3つのピースを完成させる形式(「①ふり返る」「②経験を基に話し合う」「③学びを生かす」等)で学習の進め方が構成されている。(3・4年P8、P12、5・6年P8等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 発展的な見方・考え方ができるように、「ほけんのはこ」が毎時間紹介されている。(3・4年P11、P15、5・6年P11等)</p> <p>イ 「この教科書の使い方とほけんの学び方」が掲載されており、見直しを持って学習できるよう工夫されている。(3・4年P5-6、5・6年P5-6)</p> <p>ウ 単元ごとに、「もっと！知りたい調べたい」で、児童の興味・関心に沿って発展的に学習できるような内容が紹介されている。(3・4年P24-25、P44-45、5・6年P44-47等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 「つなぐ」により、カリキュラム・マネジメントの実現に向けて他教科との関連が示されている。(3・4年P7、P27、5・6年P7等)</p> <p>イ 各単元のはじめのページに学習内容の全体像が示されている。(3・4年P7、P27、5・6年P7等)</p> <p>ウ 各時間の最初のページに「学習の課題」が設けられ、その時間に学習する課題が明示されている。(3・4年P8、P12、5・6年P8等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア UDフォントを使用し、配色にも配慮されている。</p> <p>イ イラストや図は男女などの性、外国にルーツのある子どもなどの多様性を尊重し、人数や役割、配色などが固定的なイメージの表現とならないように配慮されている。(3・4年P9、P38、5・6年P10等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア デジタルコンテンツに直接アクセスできる二次元コードが、学習の展開に沿った位置に配置されている。(3・4年P9、P22、5・6年P20等)</p> <p>イ タブレット端末を使用した振り返りができるように、二次元コードが掲載されている。(3・4年P11、P15、5・6年P11等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 様々な不安や悩みが相談できるように、相談窓口の情報が掲載されている。(3・4年P45、5・6年P19、P85)</p> <p>イ 教科書の冒頭ページに、保健の学習とSDGsが関係していることが示されている。(3・4年、5・6年ともP2-4)</p> <p>ウ タブレット端末使用における健康や安全、いじめの問題など児童の生活と密接に関連した現代的な課題が取り上げられている。(3・4年P6、5・6年P6、P23等)</p>

道德

特別の教科 道徳	特別の教科 道徳	発行者番号 2	略称 東書	書名 新編 新しい道徳
----------	----------	---------	-------	-------------

項目		特徴
学習方法	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	<p>ア 1時間の道徳をどのように学ぶかが「どんな学びをするのかな？」に示され、下部の「こんな学び方もあるよ」で示されたページには、「演じて考えよう」など具体的な学び方が文章・絵で表現されている。(全学年P6-7)</p> <p>イ 話し合い方について、年度当初の「道徳びらき」で短い場面をもとに話し合うことができるよう、「ちょっと話し合ってみよう！」が配置されている。(2年以上P8)</p> <p>ウ 教材末に配置された「つながる広がる」には、児童が自分で学びたいと思えるよう、工夫(漫画や写真、言葉等)されている。(3年P105、5年P89、P141-142等)</p>
内容の構成・配列	②学習内容の構成・配列の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 全学年に5つのユニット(安全・安心、「いじめ」について、情報モラル、「いのち」について、「じぶん」について)が設定されている。(全学年P2-3)</p> <p>イ 何を学ぶかがわかるよう、目次と別に、内容項目ごとに4分類に色分けされたページが配置されている。(全学年P4-5)</p> <p>ウ 全学年の巻末に、教材一覧表として内容項目、主題名、関連するテーマ、他教科等との関連等をまとめたページが配置されている。(1年P142-143、5年P182-183、6年P190-191等)</p> <p>エ 「つながる広がる」では、関連する教科名を掲載し、他教科等の学習とつなげやすくなるよう工夫されている。(4年P36、5年P28、6年P109等)</p>
道徳の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	<p>ア 各教材末の「考えよう」の中に内心言を表す吹き出しがあり、考えさせたい道徳的価値に迫る文言が短く記載されている。(各教材末：5年P15、P19、P23等)</p> <p>イ 児童が教材や道徳的価値に向かい合う手助けとなるよう、直接書き込めるページが配置されている。(3年P23、P93、5年P49等)</p>
	④物事を多面的・多角的に考えるための工夫	<p>ア 各教材末の「考えよう」に、教材から考える問い(◎)と自分の生き方や考え方、自分の課題としてとらえるための問い(○)として、内容項目について2つの側面から考える発問が示されている。(5年P15、P19、P23等)</p> <p>イ 全学年巻末に、「かんがえるためのツール」として「心のメーター」などのデジタルツールが配置されている。(1年P144、4年P176-178等、4年以上はキットを併載)</p> <p>ウ ほぼすべての教材に「つながる広がる」が配置され、様々な方向に広げることができるコンテンツや発問が紹介されている。(2年P142、4年P56、5年P15等)</p>
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	<p>ア 全学年に、自分たちの生活や生き方について考えられる「問題を見つけて考えよう」が配置されている。(3年P52、P143、5年P53等)</p> <p>イ 全学年巻末「学習の記録」(2年P156等)や各教材のデジタルノート(二次元コード：5年P10、P16、P20等)で自分の考えを深めることができるよう工夫されている。</p> <p>ウ 「つながる広がる」で、自分の生き方について考えることができるよう、特設ページが配置されている。(4年P130、5年P142、6年P84等)</p>
その他	⑥特別支援教育への配慮、表記・表現の配慮・工夫	<p>ア UDフォントを使用し、読み物教材では行数表示が本文の近くに記され、カラーUDに配慮されたイラストが配置されている。</p> <p>イ 身近な友達の多様性を実感できる絵本の紹介、イラストの中に車いすの児童や多様な人種の児童の配置、男女比への配慮等の工夫がされている。(1年P120、2年P46、4年P108等)</p> <p>ウ 全教材文に朗読、朗読つきスライドショー(紙芝居)、デジタルノートが用意され、裏表紙等の二次元コードからアクセスでき、児童が選択できるよう工夫されている。(全学年裏表紙、1年P34、2年P10等)</p>
	⑦デジタル化、今日的な課題への対応や配慮など	<p>ア 動物園の様子や情報モラル等について、動画資料を配し、経験の少ない児童にもイメージができるよう工夫されている。(1年P96、3年P58、5年P36等)</p> <p>イ SDGsについて「つながる広がる」等で取り上げられている。(3年P84-85、5年P68、P83等)</p> <p>ウ ユニットは現代的な課題に目を向けて構成され、社会状況に即した時期に配置されている。(例：「いのち」の配置は自死の多い9月頃、1年P42-43、P44-45等)</p>

特別の教科 道徳	特別の教科 道徳	発行者番号 17	略称 教出	書名 小学道徳 はばたこう明日へ
----------	----------	----------	-------	------------------

項目		特徴
学習方法	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	<p>ア 教材末で「やってみよう」「もんだいをかいけつしよう」「たいけん」等を配置して様々な学習活動を紹介し、児童がやってみたいと思えるよう工夫されている。(1年P39、P45、3年P123等)</p> <p>イ 1時間に学ぶことの見通しがもてるよう、全教材の導入部で「主題名」とともにキャラクターが主題に関する導入の発問を投げかけている。(2年P6、4・6年P8等)</p> <p>ウ 児童が教材への期待を膨らませられるよう、キャラクターの表情を豊かにしたり、教材名を内容に合わせた様々なフォントで表現したりする工夫がされている。(全学年P2-3、3年P8、P16等)</p>
内容の構成・配列	②学習内容の構成・配列の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア いじめ問題、情報モラルに関しては全学年、その他は学年に応じて1から3のユニットで構成されるとともに、全体は通常の30教材と補充教材5教材(1年は4教材)で構成され、地域教材を適宜使用できるよう工夫されている。(全学年目次)</p> <p>イ 2年以上で震災関連教材が扱われている。(2年P106、4年P151-155、6年P66-69等)</p> <p>ウ 発達段階に応じて、日常生活との関連が深い資料が全学年巻末に配置されている。(2年P148-151、4年P156-159、6年P172-175等)</p>
道徳の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	<p>ア 自分で考えを深められるよう、教材末に「かんがえよう」「ふかめよう」が配置されている。(1年P19、3・5年P11等)</p> <p>イ 他者理解を深められるように、学習方法として役割演技が多く提示されている。(1年P14、P16、5年P17-19等)</p>
	④物事を多面的・多角的に考えるための工夫	<p>ア 教材末に「もんだいをかいけつしよう」「やってみよう」が配置され、問題解決的な学習等様々な方法で道徳的価値に迫ることができるよう工夫されている。(1年P39、P45、3年P96等)</p> <p>イ 自分の考えを深めたり、違う視点から考えたりできるよう、特に大切にしているテーマにコラムが配置されている。(5年P87、6年P37、P155等)</p>
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	<p>ア 教材末の発問に「つなげよう」を加え、これからの学校生活や生き方に考えをつなげられるよう工夫されている。(2年P51、4年P83、5年P79等)</p> <p>イ 全教材の末尾に本時の3観点からの振り返りを「○」等の印で記入することができ、また巻末に学期ごとや1年間の振り返りを行い、切り離すことのできるシートが配置されている。(1年P17、3年P11、各学年巻末等)</p> <p>ウ 人物教材と「考えよう」「深めよう」「つなげよう」を合わせることで登場人物をモデルとして自己の生き方が考えられるよう工夫されている。(5年P28-31、P42-47、P152-157等)</p>
その他	⑥特別支援教育への配慮、表記・表現の配慮・工夫	<p>ア UDフォントが使用され、カラーUDに配慮されている。</p> <p>イ 各学年の重点テーマが上部に明示され、ページの周りを色で囲み、児童が今、何を学んでいるか意識しやすくなるよう工夫されている。(5年P34-41、P82-87、P102-107等)</p> <p>ウ 児童にとって分かりにくい言葉は、本文下に注釈をつけ、理解を促す工夫がされている。(4年P9-10、5年P142-147、6年P66-69等)</p>
	⑦デジタル化、今日的な課題への対応や配慮など	<p>ア 全教材の冒頭や目次、裏表紙の二次元コードから「まなびリンク」の教材の解説、外部リンクや参考図書等を見ることができるとともに、タブレットの使い方や感染症対策が示されている。(全学年目次、4年P6、P7等)</p> <p>イ 新規教材が全学年とも10教材以上(1年17教材、3年11教材、5年15教材等)あり、最新的话题を扱った教材が取り入れられている。</p> <p>ウ 学習内容一覧に「SDGsとの関連」や二次元コード「SDGsとは」を配置し、関連を意識した学習ができるよう工夫されている。(4年P160、5年P176、6年P176等)</p> <p>エ 大山の一木一石運動を扱った教材が5年「自然を大切にする」ユニットに含まれている。(5年P116-119)</p>

特別の教科 道徳	特別の教科 道徳	発行者番号 38	略称 光村	書名 きみがいちばんひかるとき
----------	----------	----------	-------	-----------------

項目		特徴
学習方法	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	<p>ア 全教材で、主題名と合わせてキャラクターにより考えるきっかけが示されている。(1年P6、2年P4、3・5年P10等)</p> <p>イ 「道徳が始まるよ」では、イラストや言葉で内容項目を表し、これから学ぶ内容に期待感が持てるよう工夫されている。(全学年P4-5)</p> <p>ウ 「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」や「道徳で使う言葉」で話し合いの仕方について示されている。(2-6年P6-7、1年P37、3年P48等)</p>
	②学習内容の構成・配列の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 低学年は「いじめをゆるさない心」「情報と向き合う」、3年生以上はこれに加え、「自然と共に」「共に生きる」の4ユニットが配置され、2教材とコラム(情報は1教材)で構成されており、コラムでさらに深い学びにつなげられるよう工夫されている。(各学年P2-3目次)</p> <p>イ 2年以上で学年の前半は人との関わり、中盤は社会との関わり、後半は自分の生き方を考えるようにテーマが配置されている。(全学年P2・3目次上部、1年では1学期に「1年生になったよ」というテーマが入る)</p> <p>ウ 低学年19、中学年20、高学年22の内容項目を「道徳で学ぶ〇のとびら」とし、意識できるように工夫されている。(2-6年P4-5)</p>
道徳の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	<p>ア 障がいや病気等、様々な人権問題に関わる資料が教材として扱われている。(4年P136-141、5年P140-147、6年P142-147等)</p> <p>イ 教材末の「考えよう・話し合おう」では、はじめに太字でその時間を通して考えたい内容が示され、終わりに自分の具体的な生活を振り返るような問いや道徳的価値に迫る問いが示されている。(2年P81、5年P153、P163等)</p> <p>ウ 「つなげよう」では、キャラクターが人間の弱さやうまく理解し合えないことについて投げかけ人間理解につながるよう工夫されている。(2年P71、5年P31、6年P121等)</p>
	④物事を多面的・多角的に考えるための工夫	<p>ア 「考えよう・話し合おう」が半ページから1ページを割いて書かれており、その話題により、様々な観点から道徳的実践意欲と態度につなげることができるよう工夫されている。(1年P17、3年P13、5年P42等)</p> <p>イ 3年以上で巻末付録に「学びの道具箱」を示し、多面的・多角的な意見が出せる対話の方法等について掲載されている。(3年P172-173、4年P180-181、6年P204-205等)</p> <p>ウ 「いじめを許さない心」では、関係図や詳細な役割演技の解説、コラムの「見方をかえると」等で、立場や見方を変えて考えることができるよう工夫されている。(5年P38-42、P43-47、P48-49等)</p>
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	<p>ア 2年生から全教材末に配置されている「つなげよう」では、他教科との関連で考えさせたり関連図書や人物を紹介したりして、自分の興味・関心に従って普段の生活や教科、SDGs等を掘り下げられるよう工夫されている。(4年P14、5年P60、P99等)</p> <p>イ 学年に合わせた3観点で、1年間すべての時間を自己評価ができる「学びの記録」が掲載されている。(全学年最終ページ)</p>
その他	⑥特別支援教育への配慮、表記・表現の配慮・工夫	<p>ア 大きめのUDフォントを使用し、写真や挿絵も大きめに配置してページを多く割き、ややクリームがかった紙色を使用しカラーUDにも配慮されている。</p> <p>イ 肌や目の色、名前、服装等、人種や性別を意識させないようなイラストが使われている。(1年P12-13、4年P45-49、5年P154-159等)</p> <p>ウ 場面設定の手助けとなるよう、挿絵の登場人物に適宜名前が配置されている。(1年P30-32、4年P46、6年P40-41等)</p>
	⑦デジタル化、今日的な課題への対応や配慮など	<p>ア 二次元コードで、音声、資料等の教材に関する資料が紹介されている。(1年P20、P34、4年P24等)</p> <p>イ 各ユニットのコラムの中で、UDや情報モラル、SDGs等現代的な課題が重点的に取り上げられている。(3年P134-135、5年P84-85、6年P76-77等)</p> <p>ウ 3年以上の巻末付録で「くらしの道具」「祭り」など日本各地の伝統文化や活動が紹介され、5年「防災活動」では、「あんしんトリピーなび」が紹介されている。(3年P174-175、4年P182-183、5年P190-191等)</p>

特別の教科 道徳	特別の教科 道徳	発行者番号 116	略称 日文	書名 小学道徳 生きる力
----------	----------	-----------	-------	--------------

項目		特徴
学習方法	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	<p>ア 「道徳のとびら」に、4つの内容項目を自分を中心として広がる同心円が示され、「道徳の学び方」が具体的なイメージがもてるよう写真付きで示されている。(全学年P2-3、P4-5)</p> <p>イ 付属の道徳ノートに35時間+付録の記録、自己評価がまとめられるようになっており、学習を積み重ねていく工夫がされている。</p> <p>ウ 道徳ノートの振り返りのページに「おうちの人から」の欄が配置されている。(5年P14、P29、P39等)</p> <p>エ 1年表紙裏に、絵のみの目次が配置されており、文字を習っていない1年生も道徳の期待感が持てるよう工夫されている。</p>
内容の構成・配列	②学習内容の構成・配列の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア ユニット(人とかかわり・いじめの防止、情報モラル、安全なくらしは全学年、5・6年生はよりよい社会を追加)を学習する時期を固定するのではなく、時期を分けて配置されている。(全学年目次)</p> <p>イ 通常の35教材(1年は34教材)に加え全学年巻末に3教材が付録として準備され、各学校の実情に合わせ、入替できるよう工夫されている。</p> <p>ウ 巻末付録に「見つけた!ここにも道徳」が配置され、日常生活や他教科につながるよう工夫されている。(1年P150、2年P166、3・5年P182等)</p>
道徳の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	<p>ア 全教材冒頭にリード文と登場人物の紹介(写真・絵)があり、教材の理解の助けとなるよう工夫されている。(5年P6、P10、P14等)</p> <p>イ 全教材末に「考えてみよう」を配置し、教材の中から道徳的価値に迫る中心発問が示されている。(5年P9、P13、P17等)</p> <p>ウ 内容項目につながるキーワードが教材名の前に明示され、これから話し合う道徳的価値に意識が向けられるよう工夫されている。(3年P6、P12、P16等)</p>
	④物事を多面的・多角的に考えるための工夫	<p>ア 「ぐっと深める」が全学年5回(1年は6回)配置され、資料と関連させて役割演技を中心に、話し合い等で多面的・多角的に考えを深められるよう工夫されている。(1年P114-115、3年106-107、5年P86-87等)</p> <p>イ 「心のベンチ」で、学習したことについて他の見方をしたり、事柄や教科等につなげて考えを広げたりできるよう工夫されている。(2年P134-135、4年P142-143、5年P18-19等)</p>
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	<p>ア 各教材末の「見つめよう・生かそう」で、自己の振り返りにつながる発問が示されている。(3年P11、P15、P19等)</p> <p>イ 道徳ノートは自己評価欄以外ほぼ自由に書けるように設定されるとともに、定期的に振り返りを書くことができるページが配置されており、自己内対話を促すことができるよう工夫されている。(1年どうとくノートP13、P28、P38等)</p>
その他	⑥特別支援教育への配慮、表記・表現の配慮・工夫	<p>ア UDフォントを使用し、カラーUDにも配慮され、すべての教材が右ページ始まりとなるように配置されている。</p> <p>イ 全教材冒頭の二次元コードから心情メーター、シンキングツール、ワークシート、朗読等の音声にアクセスでき、道徳ノートは紙とデジタル(Word、Googleドキュメント)の両方から選ぶことができるよう工夫されている。(1年P8、5年P6、P10等)</p>
	⑦デジタル化、今日的な課題への対応や配慮など	<p>ア 「心のベンチ」でチェックシート形式のワークシートやクイズ、SNSの画面を模した紙面等で、情報モラルについて学べるよう工夫されている。(3年P48-49、5年P152-153、6年P40-41等)</p> <p>イ 3年以上に巻末付録「SDGsで考えよう」が配置され、教材と各ゴールとの関係を自分で考え、道徳ノートにまとめるよう示されている。(3・5年P182、6年P190等)</p> <p>ウ 「心のベンチ」で「防災」「環境」「平和」等の今日的課題が扱われており、特にいじめ問題についてはユニットで直接的・間接的に扱った後、様々な観点から考えるきっかけを与える工夫がされている。(4年P94-95、5年P80-81、6年P148-149)</p> <p>エ 「よりよい社会」ユニットの自然を守る取組として、鳥取砂丘と砂丘レンジャーによる落書きパトロールが取り扱われている。(5年P42-43)</p>

特別の教科 道徳	特別の教科 道徳	発行者番号 208	略称 光文	書名 小学道徳 ゆたかな心
----------	----------	-----------	-------	---------------

項目		特徴
学習方法	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	<p>ア 「ゆたかな心」 ページで4つの内容項目を同心円に整理するとともに、自己を見つめる、多面的・多角的な見方、問いを持つこと、へこんでも立ち直ることの4つの育てたい子どもの姿を4枚の葉に表し意識させられるよう工夫されている。(全学年P2-3)</p> <p>イ 「話し合ってみよう」「まとめよう・ふりかえろう」で話し合いの仕方やノートの使い方が示されている。(全学年P8-9)</p> <p>ウ 表紙と裏表紙、目次冒頭部から巻末「ことばのたからもの」にストーリー性があり、児童が興味・関心とつながりを持って1年間学ぶことができるよう工夫されている。</p>
内容の構成・配列	②学習内容の構成・配列の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 重点主題として全学年配置の「命をかがやかせる」「いじめを生まない心」を含む各学年3つのユニット型の教材のまとまりが配置されている。(全学年目次)</p> <p>イ 詩と写真や漫画形式等、様々な形態の教材が配置されている。(5年P14-16、P36-40、P48-51等)</p> <p>ウ 通常35教材(1年34教材)に加え、5教材(1年6教材)が付録として準備され、学校の実情や児童の実態に応じて入れ替えることができるよう工夫されている。(各学年目次)</p> <p>エ 全学年巻末に内容項目別教材一覧に関連性のある内容項目や現代的課題との関連等が整理されている。(1年P156、3年P180、6年P188等)</p>
道徳の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	<p>ア 1年から人物教材を配置し、二次元コードのインタビュー動画で、その人の思いを本人の言葉で聞くことができるよう工夫されている。(1年P92-95、4年P100-103等)</p> <p>イ 全教材の題名の右側に、道徳的価値につながるような短い言葉が提示されている。(1年P10、4年P20、6年P54等)</p> <p>ウ 重点主題としてユニット型に複数教材を関連させて、冒頭に導入ページが配置されている。(1年P65、3年P19、5年P31等)</p>
	④物事を多面的・多角的に考えるための工夫	<p>ア 全教材の冒頭に導入となる問い、末尾に「かんがえよう」「まとめよう」「ひろげよう」が配置され、児童が自ら道徳的価値について様々な面からとらえ、考えを広げることができるよう工夫されている。(1年P10-11、2年P10-13、P18-19等)</p> <p>イ 全学年に思考ツールが紹介され、様々な見方から考えを整理したりまとめたりできる工夫がなされるとともに、思考ツールと教材を結びつけられるよう記載されている。(1年P6-7、6年P6-7、P121等)</p>
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	<p>ア 「道徳の時間は、こんな時間です」に、1時間の学習の流れと学習後の生活や他教科等とのつながりが示されている。(全学年P4-5)</p> <p>イ 全学年巻末の「学びの足あと」は、1枚で1年間の学びをまとめつつ、「なりたい自分」を書いたり、各時間のまとめを顔マークや心の矢印、文章でまとめるようにしたりしており、自己の心の動きが捉えやすくなるよう工夫されている。(全学年①-④)</p>
その他	⑥特別支援教育への配慮、表記・表現の配慮・工夫	<p>ア UDフォントを使用し、カラーUDにも配慮し、各教材の挿絵以外は4つの内容項目を表す1色のみを使うような工夫がされている。</p> <p>イ すべての教材を右ページ始まりで配置するとともに、3年まではすべての漢字に、4年以上は当該学年の漢字にルビが振られている。</p> <p>ウ 漫画形式以外のコマ割りされた教材は各コマに順番が示されている。(1年P34-37、2年P86-88、4年P42-45等)</p>
	⑦デジタル化、今日的な課題への対応や配慮など	<p>ア 全学年目次に、スマートフォンの扱い等情報モラルに関する教材、コラム、デジタルコンテンツの有無が示されている。(1年P42-47、2年P54-55、3年P46-47等)</p> <p>イ SDGsの関連教材がどの学年にも配置されている。(2年P152-153、4年P160-161、5年P164-165等)</p> <p>ウ 「へこんでもたちなおる」ことを意識させられるよう、全学年にレジリエンスに関するコラムが配置されている。(1年P116-117、2年P104-105、5年P148等)</p> <p>エ 地域の特産品である、二十世紀梨を通じた千葉と鳥取の交流が扱われている。(4年P82-85)</p>

特別の教科 道徳	特別の教科 道徳	発行者番号 224	略称 学研	書名 新版 みんなの道徳
----------	----------	-----------	-------	--------------

項目		特徴
学習方法	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	<p>ア 巻頭に自分がどう生きていくかを考えさせる写真と詩、「つながるわたし広がるわたし」を掲載し、最巻末の「つなげよう広げよう」を関連させ、自分を基軸とした考えの広がり、深まりを意識できるよう工夫されている。(全学年P0-3、1年P140、2年P148等)</p> <p>イ 物語、詩、絵、児童作文、歌曲等様々な種類の教材があり、事実に基づく話が多く配置されている。(5年P50-51、P144-146、6年P166-167等)</p> <p>ウ 「道徳の学習が始まるよ」は、学年に応じた書き方で4つの内容項目と道徳の時間の学び方が示され、1時間の見通しが持てるよう工夫されている。(全学年P8-9)</p>
	②学習内容の構成・配列の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 全学年に「いのちユニット」「多様性ユニット」「キャリアユニット」を配置し、ページ左上部にマークをつける、下部を同じ色で囲む等の工夫がされている。(5年P35-43、P93-103、P147-155等)</p> <p>イ 全学年1つ目または2つ目の教材に、学校生活や規律にかかわる内容項目が配置されている。(2年P10-11、5年P14-17、6年P12-17等)</p> <p>ウ 「心のパスポート」で他教科等へのつながりを示すとともに、目次でも他教科やSDGs等の関連を示す11種類のアイコンが示されている。(4年P113、5年P146、全学年P2-5等)</p>
	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	<p>ア 直接・間接的にいじめ防止につながる教材が、各学年7～13教材配置されている。(4年P48-55、P100-103、P160-163等)</p> <p>イ キャリア教育推進や生き方のモデルとなるよう、著名な人物について取り扱われている。(4年P30-33、5年P28-31、6年P68-69等)</p> <p>ウ 全教材末に「考えよう」を配置し、教材から道徳的価値に迫っていく発問が2問ずつ、低学年では1問または2問示されている。(1年P15、3年P12、5年P17等)</p>
道徳の目標に関連する工夫について	④物事を多面的・多角的に考えるための工夫	<p>ア 教材末に配置された「深めよう」では、立場の違う視点から考える活動や、異なる立場の人物の考えを比べることができるよう工夫されている。(3年P105、4年P13、6年P143等)</p> <p>イ 道徳的価値について考えるきっかけとして、主発問を別の立場や見方等の違う面から考えることができる発問が符号をつけて記載されている。(5年P58、P114、6年P38等)</p> <p>ウ 多様な捉え方や考えを引き出せるよう、主題名やテーマは本文冒頭に掲載せず、題名と抽象的な言葉が掲載されている。(1年P56、3年P10、5年P104等)</p>
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	<p>ア 「深めよう」では、自分の課題を見付けたり、大切にしたいことについて考えたりする際に書き込むページが配置されており、学びの足跡となるよう工夫されている。(5年P133、6年P17、P63等)</p> <p>イ 「心のパスポート」として学年に応じて様々な視点から自分の考えを書くページが配置されている。(4年P59、5年P43、6年P164-165等)</p>
その他	⑥特別支援教育への配慮、表記・表現の配慮・工夫	<p>ア UDフォントが使用され、カラーUDに配慮されている。</p> <p>イ すべての教材を右ページ始まりにし、ほとんどの教材を3～4ページに収めるよう工夫されている。</p> <p>ウ 目次は様々な色分けされ、内容項目や現代的課題との関連を見ることができるよう工夫されている。(全学年P4-5)</p>
	⑦デジタル化、今日的な課題への対応や配慮など	<p>ア 「学びを深めるデジタルコンテンツ」にデジタルコンテンツをまとめ、裏表紙に一括アクセスできる二次元コードが配置され、本文には必要に応じ外部サイト等につながる二次元コードが配置されている。(5年P44、P64、P94等)</p> <p>イ 実話をもとに、人権に配慮した現代社会の多様性に即した内容が設定されている。(5年P98-101、6年P58-63、P64-67等)</p> <p>ウ 鳥取市を舞台に、周囲の人の支えと感謝について考える教材が扱われている。(5年P40-42)</p>